



平成30年度全国高等学校総合体育大会

2018 彩る感動 東海総体

翔べ誰より高く東海空へ 2018.7.26-8.20

平成30年度全国高等学校総合体育大会
三重県高校生活動第2回「地区推進委員会」 配布資料

平成29年2月16日(木)
総合教育センター多目的ホール
15:00~17:00

【報告事項】

(1) 南東北総体 2017 プレイメント視察報告	頁
資料1-1 はばたけ世界へ 南東北総体2017プレイメント視察報告	1
資料1-2 南東北総体2017カウントダウンイベント視察報告書	11
(2) 300日前イベントについて	
資料2-1 300日前イベントの企画進捗状況	19
資料2-2 300日前イベント検討資料	21
資料2-3 300日前イベント検討案	25
(3) 各学校推進委員会自主的活動計画及び活動状況	
資料3-1 各学校推進委員会自主的活動計画一覧	29
資料3-2 高校生活動推進委員会活動状況	37
(4) 各地区推進委員会活動計画企画案について	
資料4-1 各地区推進委員会活動計画企画案一覧	43
資料4-2 第1回各地区推進委員会意見交換の企画案	47

【意見交換】

(1) 手作り記念品の製作について	
資料5-1 手作り記念品の製作について	49
資料5-2 手作り記念品の製作について(意見交換の進め方)	59
(2) 各地区推進委員会活動計画について	
資料6 各地区推進委員会活動計画について(意見交換の進め方)	61

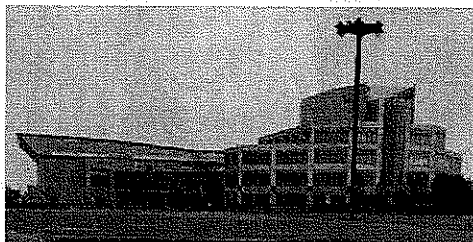
【資料1-1】

はばたけ世界へ 南東北総体2017
プレイベント
視察報告

○場所・日時

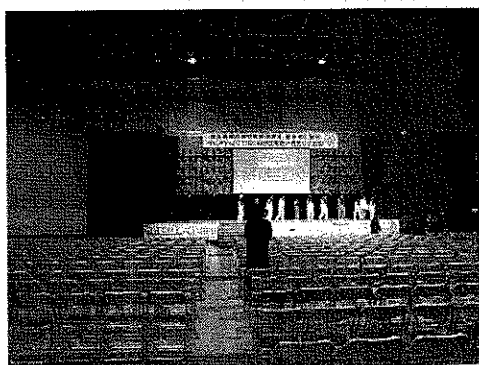
12月10日(土)リハーサル
11日(日)イベント当日

山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング



○1日目 リハーサル視察

14:30～17:30

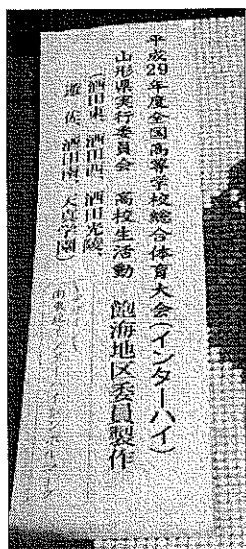


主な視察内容

- リハーサルの進行、手順
- 会場の案内表示
- 広報の様子
- 展示ブースの配置

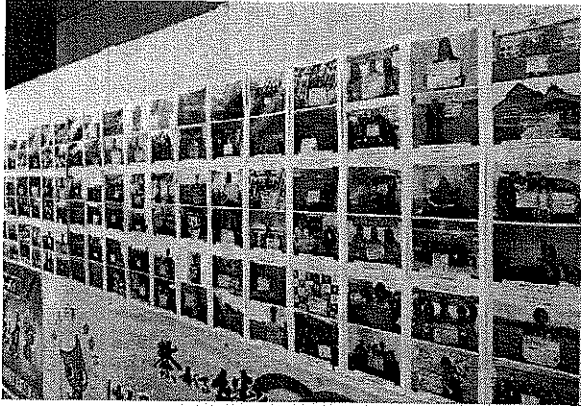
～入口付近（会場外）～

キヤツプアート



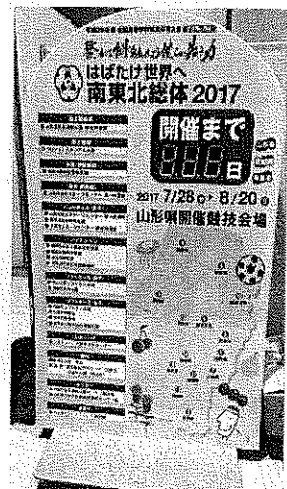
～入口付近（会場外）～

インターハイに関わる人による
メッセージ付きカウントダウン



～会場内～

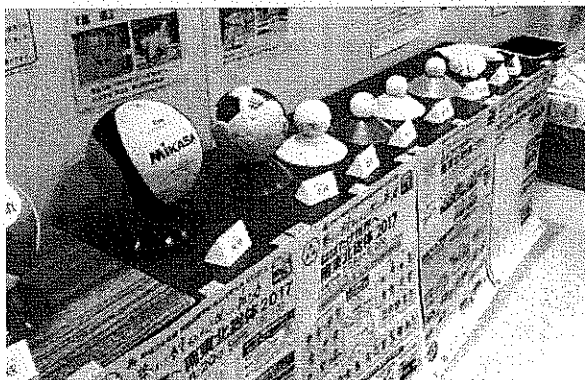
カウントダウンボード



会場内



各競技の紹介



2日目（イベント当日）



主な視察内容

- 観客の様子
- セレモニーの様子
- 展示ブースの様子
- 高校生の活動
- 案内表示・広報の様子

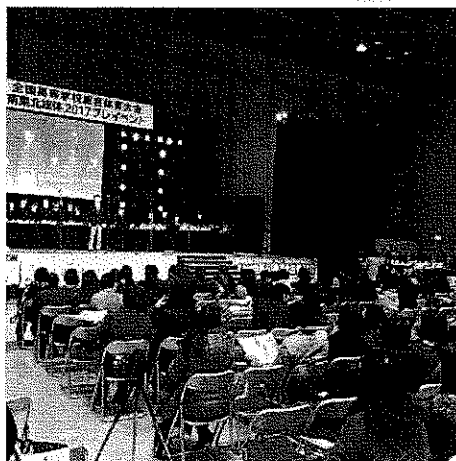
総合案内所



配布物

- ・プレイベントのパンフレット
- ・山形県の観光パンフレット

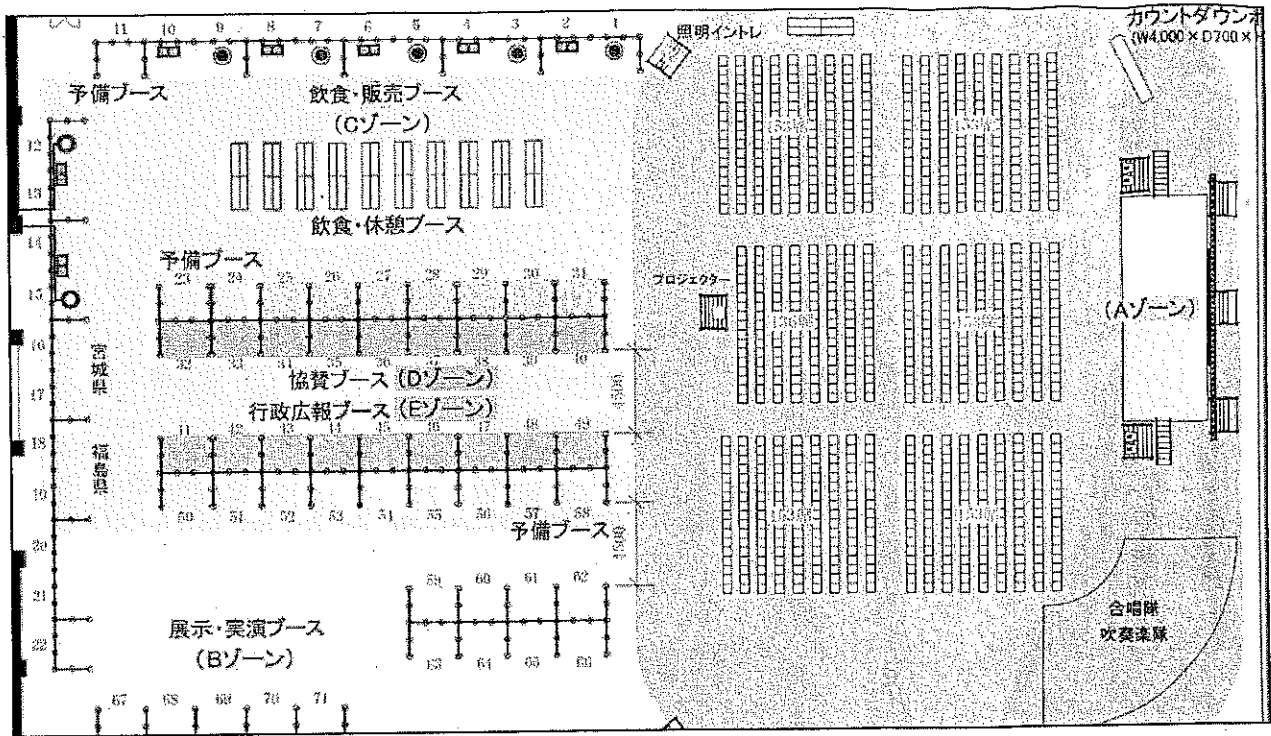
観客の様子



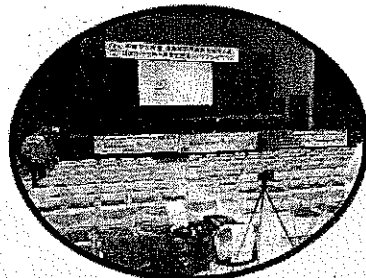
客席の様子



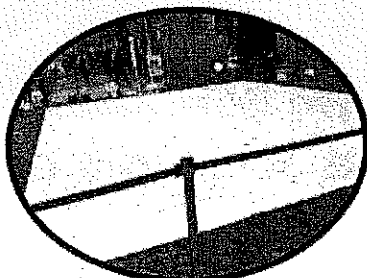
飲食スペースの様子



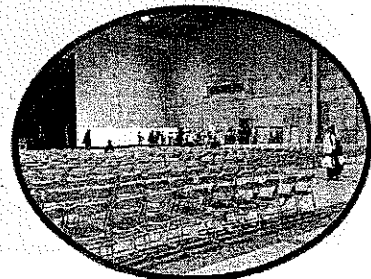
ステージ



アップステージ



書道ステージ



フロアステージ

展示ブース（物品販売）



山形の農園で作られた作物

産業高校で作られた
ジュースやジャム

米粉クッキー

展示ブース（体験）



砲丸の運搬車の試運転

モーターの運転

半田ごての体験

展示ブース（食品）



山形名物 どんどん焼き



流行りのSNSパネルで宣伝
山形県芋煮



友情の花の種伝達式

友情の花とは、1977年の岡山大会で花を通じて心の交流を図ることを願った地元高校生が、各会場をサルビアとマリーゴールドで飾り、大会終了後に種を採取し、次回開催県へ贈ったのがはじまりとされています。



カウントダウンボード除幕式



カウントダウンの移動（山形県庁前）



イベント会場から県庁前に
カウントダウンボードを運搬した。

ケンブリッジ飛鳥のトークショー



ご清聴ありがとうございました。

南東北総体2017カウントダウンイベント

視察報告書

視察日 平成28年12月10日(土)～11日(日)

三重県立桑名高等学校 西山 莉子

三重県立津高等学校 松林 由起

【視察生徒委員】

高校生活動推進委員会

委員長	西山莉子	(桑名高等学校)
副委員長	曾根誠太郎	(四日市工業高等学校)
	松林由起	(津高等学校)
	立松希一	(エスコラピオス学園海星高等学校)

イベント会場周辺

〈広報の様子〉

JR 山形駅からの案内表示はなかった。

タクシーの運転手さんさえもイベントが行われることを知らなかった。山形駅やその周辺にはのぼりやポスターはなかった。会場外を囲うようにしてのぼりがたくさんあった。駅やその周辺にものぼりなどを置けば多くの人にイベントに来てもらえるのではないかと思った。カウントダウンイベントのポスターなども効果があると思う。

〈リハーサルの様子〉

15 程度指示をしてから各発表をしていた。基本は高校生が仕切っていたが、大まかな段取りなどは大人が仕切っていた。リハーサルではピリピリしている雰囲気が見られた。

イベント会場(ステージ)

〈開会宣言〉

宣言者は、岡山県高校生活動推進委員会副委員長 2 名。

内容は歓迎の挨拶、南東北総体の開催について、高校生活動について、開会宣言。

〈競技種目紹介の一部〉 山形県、福島県、宮城県 の 3 県が行った。

(山形県) 高校生活動推進委員会副委員長の 2 名と山形県のユルキャラが南東北総体の紹介後、約 5 分の VTR が流れた。VTR の内容は山形県で開催される競技の高校生の練習風景とその練習している人らが競技開催場所と日程の紹介。BGM はゆずの「栄光の架橋」

(宮城県) 高校生活動の委員 10 名と宮城県のユルキャラが登場後約 5 分の VTR が流れ、宮城県高校生活動推進委員会委員長が VTR にあわせマイクを使い紹介。VTR の内容は、宮城県で開催される種目の紹介。

〈各学校の出し物の一部〉 12 校が発表を行った。

(吹奏楽演奏) 山形中央高校の生徒が演奏。ステージ上ではなくステージ下、右側での演奏だったため客席からは見にくい場所もあったが、ステージ上のスクリーンで映されていたので見られることができた。

(ファッションショー) 山本学園衣創科の 24 名がファッションショーを行った。各学校の出し物の中で高校生からの注目度が一番高かった。華やかさがあった。

(書道パフォーマンス) 寒河江高校書道部の生徒 10 人がパフォーマンスを行った。たくさんの人が書道パフォーマンスにカメラを向けた。

〈県知事挨拶〉 約3分

(内容) インターハイまでの期間について、高校生活動の原点は山形であること、高校生活動の紹介、インターハイ開催時の来場者数について、この後のゲストトークについて。

〈委員長挨拶〉 約3分

(内容) 45年前山形で開催されたインターハイの高校生活動について、東日本大震災について、プレイベントの協賛企業の方、先生方への感謝の言葉

(感想) 45年前の高校生活動についての話が良かったと思った。年配の方もいらっしゃったので懐かしさを感じられたのではないかと感じた。来場者への気配りもできており、良い挨拶だと感じた。

〈カウントダウンボード除幕式〉

(流れ)

- ① 除幕者が呼ばれ座っていた席からカウントダウンボードの前に移動
- ② 司会者がカウントダウンボードについて説明
- ③ 司会者の合図に合わせて除幕 (ここで吹奏楽がBGMを演奏する)
- ④ 写真撮影(その場で) (ここで合唱部が歌い始める)
- ⑤ 除幕者着席 (ここで合唱部歌い終わる、吹奏楽も演奏を終わる)

(出演者)

山形県知事、教育長、山形県高体連会長、山形県高校生活動専門部会会長、宮城県高校生活動会長、福島県高校生活動推進委員会会長、47インターハイ生徒代表、山形県宮城県高校生活動推進委員会委員長各1名、福島県高校生活動推進委員会副委員長 計10名

(感想)

山形工業高校が作成した縦1.8m横3.6mと、とても大きいカウントダウンボードが姿を現したとき観客から盛大な拍手が起こった。吹奏楽や合唱部が雰囲気を作ってくれていると感じた。写真撮影時は観客席から身を乗り出してまでもカメラを向ける人が何人か居た。除幕者が中心に居てその片隅にユルキャラが立っていたので、迷惑にならない程度にもっと前に出てアピールしても良いと思った。カウントダウンボード除幕では、知事や委員長を高校生が先導していた。

〈友情の花の種の伝達〉

(流れ)

- ① 岡山県副委員長の挨拶
- ② 花の種伝達
- ③ 山形県委員長の挨拶
- ④ 山形県から岡山県へ記念品贈呈
- ⑤ 写真撮影(舞台の上で)
- ⑥ 退場

(出演者)

山形県委員長1名副委員長2名、宮城県福島県委員長各1名
岡山県副委員長、鳥取県島根県広島県委員長各1名、山口県副委員長 計10名

(写真撮影時の立ち位置)

舞台を正面に見て、右側に中国ブロックの生徒5名左側に南東北ブロックの生徒5名。
南東北ブロックの左隣に司会者三名。

(感想)

観客席はほとんど満員で緊張感を感じた。中国ブロックから南東北ブロックへと友情の花が渡された所で感動した。来年、再来年は自分達の番だということを実感した。片付けの時間も観客を飽きさせないように競技紹介のビデオを流し、ステージを使わない発表（吹奏楽など）をする工夫が見られた。競技紹介のビデオも各県でわかれている、会場や競技をわかりやすく説明していた。観客席から少し見にくいところもあったので、遠くからでもわかるような字体やレイアウトにしなければならないと思った。飲食ブースからステージを見られるようにもう1つスクリーンを作ってもいいと思う。友情の花の種伝達式では、委員長同士が挨拶をし、バトンをつなぐことができていた。互いに握手をする姿がとても印象的だった。県民歌や高体連の歌を歌うのはよかったが、パンフレットに歌詞などをかいておけば多くの人に歌ってもらえると思う。除幕のファンファーレも高校生が担当していた。

〈ダリヤ命名報告〉

ダリヤは、友情の花の種のお返しとして山形から岡山に贈られた花。
このダリヤの花の名前は「みせる青春、夢舞台」とつけられた。

〈来場者の様子〉

全体を通して年配の方が多く、小さい子は全然いなかった。
高校生は、販売ブースや運営にまわっていた。

イベント会場(展示)

〈展示ブース〉

山本学園高校 : 衣装科が作成した小物の販売
新庄南高校 : ペットボトルキャップアートの展示
山形電波工業高校 : 投てき運搬車の展示

〈販売ブース〉

小国高校 : たかきびうどんの販売
谷地高校 : 冷たい肉そばの販売
南陽高校 : 豆腐入りカレーうどんの販売
市立商業高校 : どんどん焼きの販売
新庄北高校定時制 : たこ焼きの販売

〈飲食ブース〉

長机といすがあり、沢山の人が利用していた。寒かったので温かい食べ物を食べている人が多かった。

〈協賛ブース〉

大塚製薬(株) : 高校生が来場者にポカリスエットを配布、インターハイのPR動画を放送していた。大人3名高校生3名の計6名。

(株)カンコー学生服 : お願い梅ボードに協力してくれた人にファイテンのボディケアテープを配布

お願い梅ボードとは梅の花の形をした紙にお願い事を書いてボードに貼るもの。

他にも、(株)トヨタレンタリース山形、(株)カーサービス山形、(株)置環、(株)マツキ、積水ハウス(株)山形支店、計7社

〈行政広報ブース〉

(寒河江)(上山市)(酒田市)(米沢市)(南陽市)(西川町)(川西町)(白鷹町) 観光PR

(鶴岡市)(尾花沢市)(新庄市) 観光PR、物産品の販売、餅のふるまい

(山形市) B級グルメ「芋煮カレーうどん」の販売

(天童市) 観光PR、ラ・フランス、リンゴの重量あてクイズ

(長井市) けん玉体験

〈感想〉

各校が製作したカウントダウンボードやインターハイに関連した製作物が展示されていた。また、製作物の無料配布や試食などもあり、賑わっていた。競技会場市町も出展しており、観光PRや名産品の販売も行っていた。総合案内所にも市町のパンフレットがあり、持ち帰ることもできた。高校生活動のブースでは、今までの活動についてまとめたものや実際に競技で使うボールなどに触れることができた。手書きのポップなどで男女のボールの大きさなどが書いてあり、分かりやすかった。

全体を通して

〈プレイベントの全体的な感想〉

司会は放送部の高校生2人とアナウンサー1人だった。インターハイのカウントダウンイベントからしっかりPRすることが大切だと思った。今回の会場は駅から少し離れていたため、シャトルバスなどがあってもよかったと思う。今までのカウントダウンイベントはイオンなどの施設の一部を借りて行っていた。今回は広い会場だったため、飲食ブースがあった。大きな会場ですること今までできなかった飲食ブースができたことは大きい。比較的安い価格で提供していた。また、高校が開発した商品などもあり面白かった。運営スタッフはもちろん、司会やカメラマンまでも高校生で本当に高校生中心のイベントだった。ケンブリッジ飛鳥選手のトークショーのような実際にインターハイを経験した人の話を聞けるのにも人が集まっていいと思う。しかし、翌日の新聞報道はケンブリッジ飛鳥選手に関する取扱いが中心であったことから、インターハイ開催の周知としては疑問がある。また、会場入り口では高校生がパンフレットと一緒にカイロを配っていた。寒い地域だからこその工夫があり、見習うべきだと感じた。たくさんの人にに来てもらい、喜んでもらうにはどうしたらいいのかを考えて、高校生活動の新たな歴史を作っていけるようにしたい。

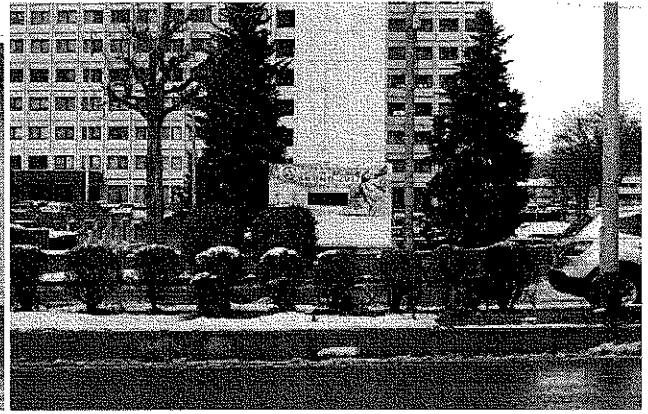
〈三重県でのイベントを開催するにあたってのアイデア〉

子ども連れが少なかったのではないかな。誰とでも、親子でも、気軽に来られるイベントにするためには子ども向けのブース(例、輪投げや縁日)を作り、パンフレットに載せると良いのではないかな。子供向けのブースでの参加賞や景品をインターハイオリジナルのクリアファイルなどにとするとインターハイに関連してくると思う。山形国際交流プラザを入ったすぐの所に「カウントダウン絆リレー写真展」があった。「カウントダウン絆リレー写真展」とは、500日前から大会までの日数を書いた紙を持っている人達の写真が何百枚も貼ってあるもの。とてもインパクトがあり、印象に残った。三重県でも「カウントダウン絆リレー写真展」を作成してはどうか。その写真をスポーツ選手や三重県出身の有名人にお願いしてはどうか。宮城県の高校生活動で地元のスポーツイベントに参加しPRする、というものがあつた。例えば、「ベガルタ仙台レディース」のホームゲームのハーフタイムで高校生が横断幕を持ってピッチに立つというもの。様々な場所で広報活動を行うことで広く知れ渡ると思う。展示物など手作り感があり、「みんなで作ったイベント」という感じがしてとてもよかった。このような良さに「三重県らしさ」を加えていきたい。

<写真の記録>



会場である山形国際交流プラザ



会場周辺のカウントダウンボード



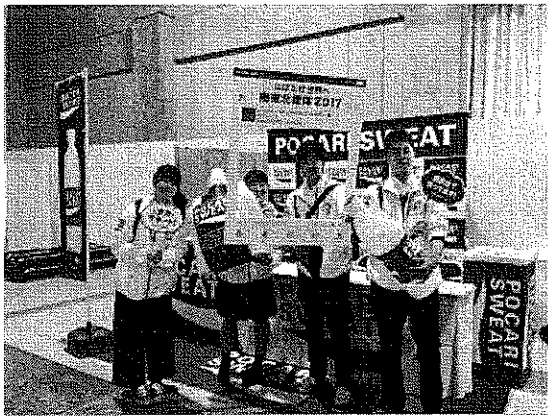
総合案内所



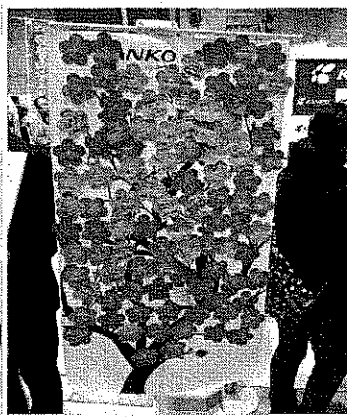
机上に観光パンフレット



机上に木製看板



大塚製薬さんのブースにて記念撮影



KANKO さん



トヨタレンタリースさん

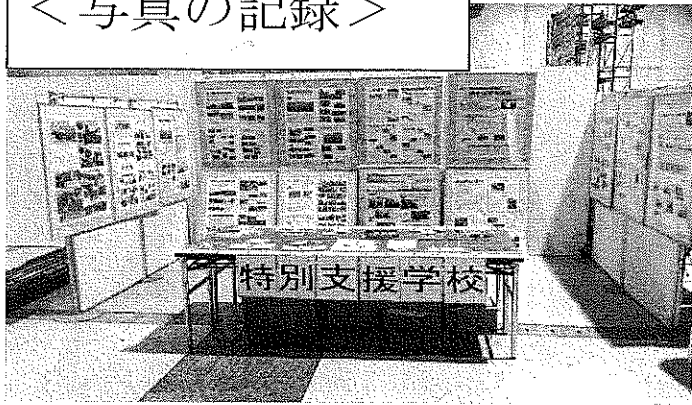


カウントダウンボード除幕式の写真

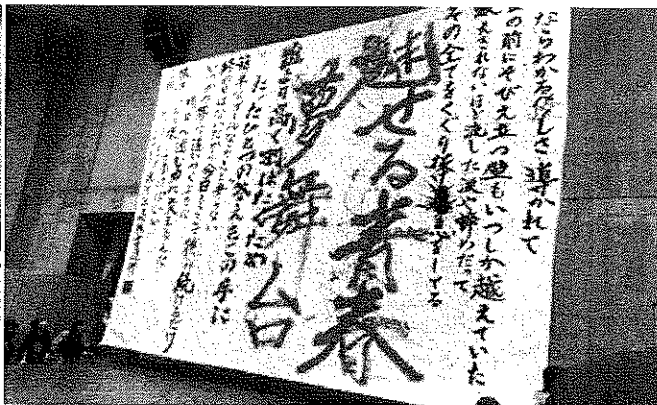


山形県高校生活動委員長の挨拶の様子

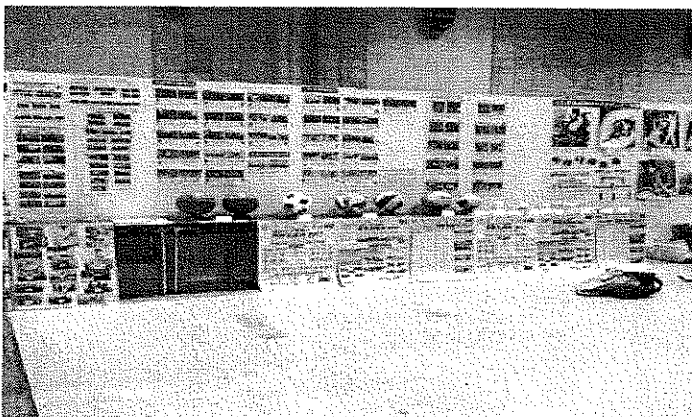
< 写真の記録 >



山形県内の特別支援学校の紹介、手作り品の展示



寒河江高校の書道パフォーマンス



南東北3県高校生活動推進委員会の高校生活動の記録



山形市立商業高校によるどんぶり焼きの販売



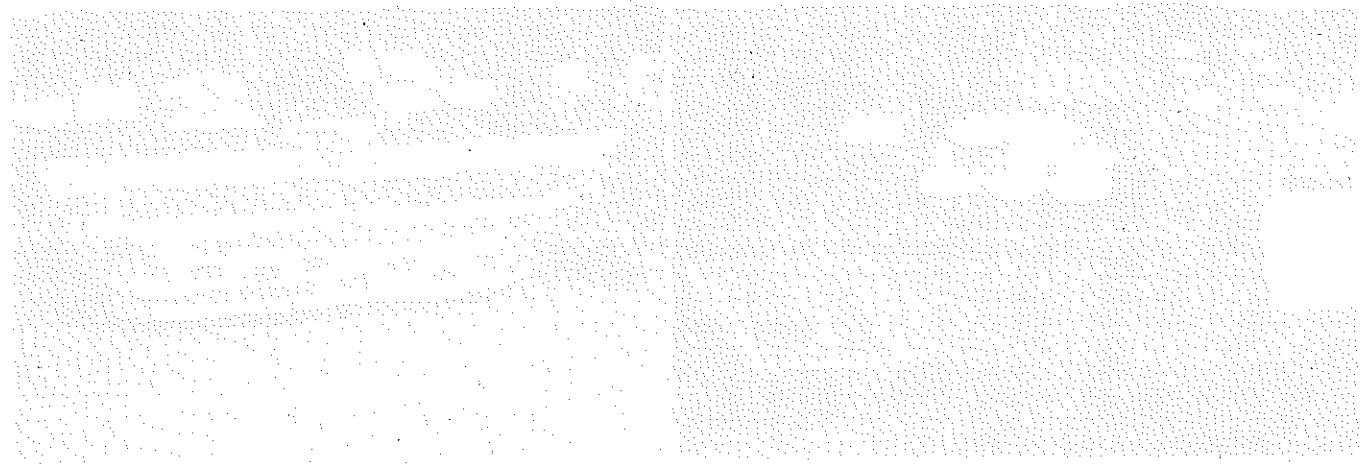
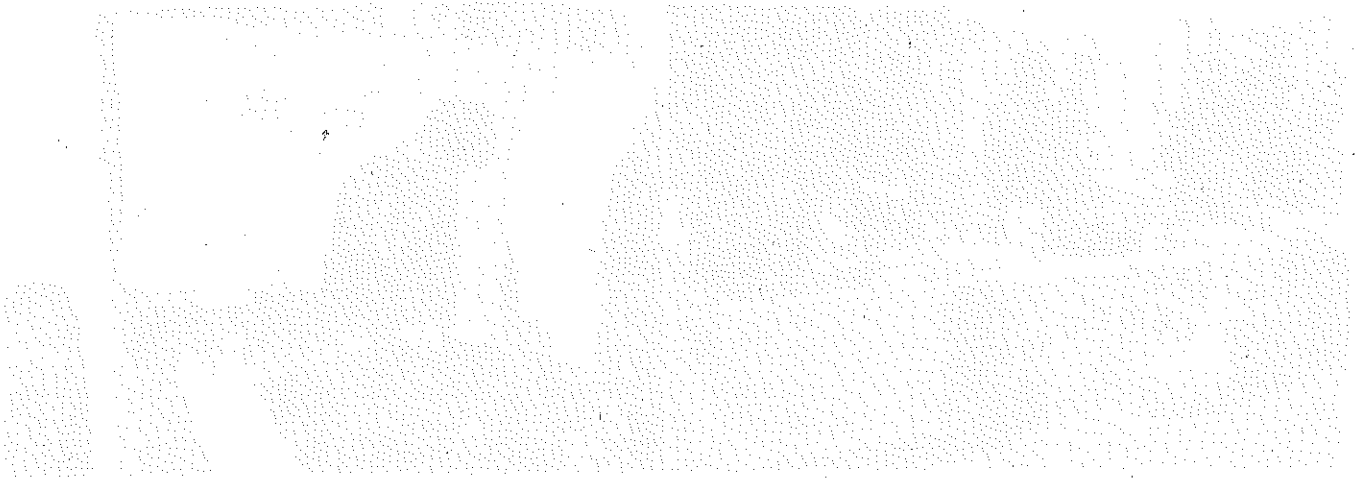
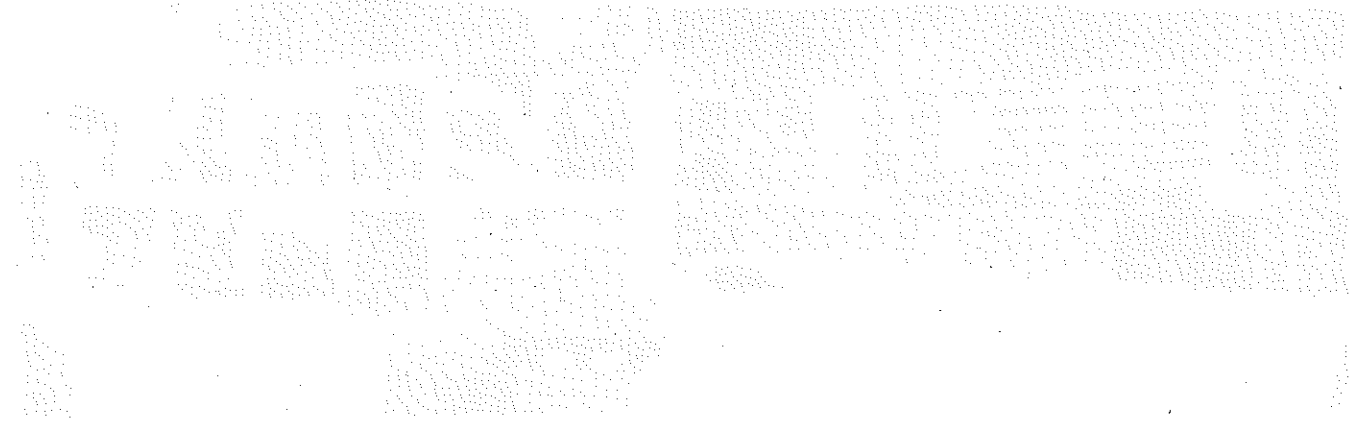
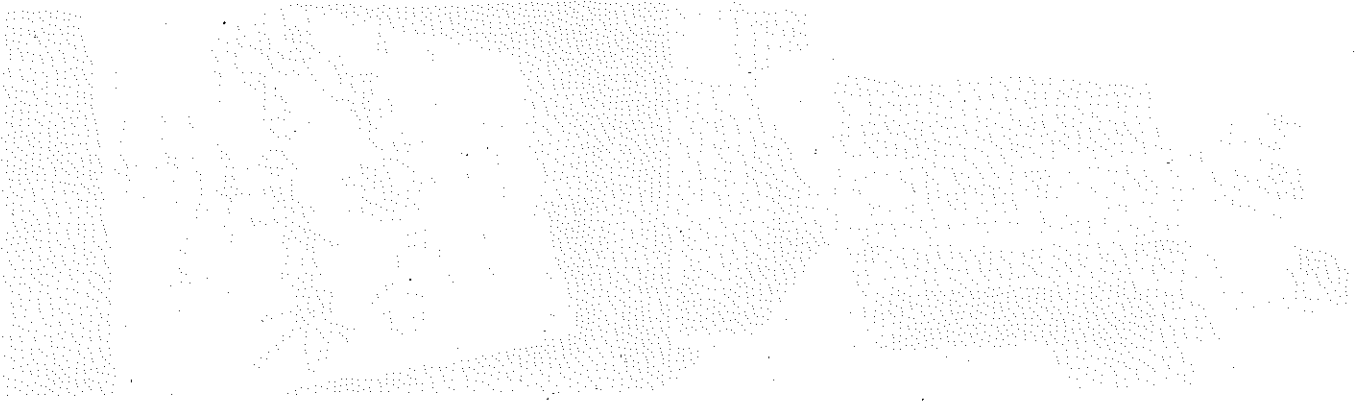
村山産業高校によるシクラメン、大根の販売



置賜農業高校による農産加工品の販売



新庄北高校定時制によるたこ焼きの販売



300日前イベントの企画進捗状況

1. 300日前イベントとは

平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催について、三重県を中心に東海ブロックで開催されるインターハイのPRと高校生が積極的に大会の成功に向けて取り組む姿を広く県民へアピールすることで、大会開催へ向けての機運の醸成を図ることを目的とする。

内容は、カウントダウンボードの披露や先催県からの花の種の伝達式などの式典の部分と競技紹介や高校生活動の取組などさまざまな企画を実施して大会に向けてのPRを行います。【詳細は、資料2-2参照】

2. 県推進委員会役員会で原案の作成【詳細は、資料2-3参照】

1月21日(土)に県推進委員会委員長・副委員長で協議。

(1)300日前イベントを行う目的を話し合う

「インターハイの開催を多くの人に知ってもらう」ことを確認

(2)執行部案の作成

○県内複数箇所の商業施設等で実施【第1案】

○MieMu+高校生フェスティバルで実施【第2案】

○式典やインターハイ種目の体験イベントを単独施設で実施【第3案】

2. 第2回県推進委員会での議論

2月3日(金)に開催目的を確認の上、方向性の検討を行った。

【第1案】「県内複数箇所の商業施設で実施」を支持した理由。

○一箇所に集めて実施するのは、南北に長い県の特徴から考えると、来ることができない人もでることから、人の集まる場所での分散開催が望ましい。

○実施する時間によってターゲットを変えられる。

○常に誰かがいるので、多くの人に知ってもらえる。

○事前の広報が大切。

○【第3案】のスポーツイベントの企画を1案に取り込む。

(体験や道具の展示でPRになるとともに、種目を知ってもらえる)

○複数箇所での実施による負担はデメリットであるが、2018に向けて僕たちが積極的にやらなければならないので、それをメリットとして考える。

【第2案】「MieMu で式典＋高校生フェスティバルでPR を実施」
支持なし

【第3案】「式典やインターハイ種目の体験イベントを単独施設で実施」を支持
した理由。

- 屋台で地域の物産を出して人を呼ぶ。
- 芸能人を呼んで人を呼ぶ。
- その日限定のイベントをしたり、その日限定の弁当を販売する。

【第1案】を支持する意見が多かったが、【第3案】も支持する意見もあり、方向性を確定するまでには至らず、継続審議となりました。

3. 今後の予定

○2月16日（金）

第2回地区推進委員会終了後、県推進委員会メンバーにて方向性の検討・確定。次回県推進委員会までに「企画案の検討」。

○3月21日（火）

第3回県推進委員会にて、「企画案の決定」及び「役割分担」

※300日前イベントについては、県推進委員会にて検討を進めていますが、「インターハイの開催を多くの人に知ってもらう」ための重要なイベントであるとともに、式典には三重県知事、三重県教育委員会教育長とともに、山形県や東海3県からの代表生徒も出席するととても大切なイベントです。

地区推進委員会を始め、多くの高校生に協力がなければ成功しませんので、皆さんよろしくお願いします！！

300日前イベント検討資料

1. 先催県での取組事例

(1) 平成27年度近畿総体（和歌山県）

日時：平成26年9月23日（火）

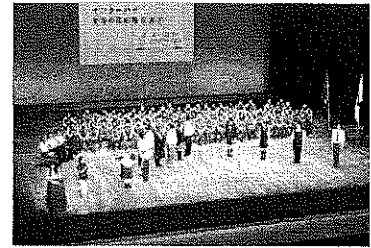
15時5分～15時20分 【15分】

場所：和歌山県民文化館大ホール

内容：式典：友情の花の種伝達、生徒委員長挨拶、教育長メッセージ

その他：他都県高校生との交流会（13:50～14:30）

※国体壮行会一部として実施



(2) 平成28年度中国総体（岡山県）

日時：平成27年10月3日（土）11時～15時55分 【約5時間】

場所：イオンモール岡山イベントスペース

内容：第1部 オープニング（40分）

- ・合唱
- ・挨拶（県推進委員会副委員長）
- ・インターハイ全種目紹介

第2部 セレモニー（70分）

- ・書道パフォーマンス
- ・知事挨拶
- ・県推委員長挨拶
- ・カウントダウンボード除幕式
- ・友情の花の種伝達式
- ・高校生活動取組紹介（中国5県）

第3部 アトラクション（60分）

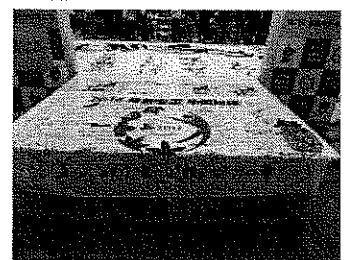
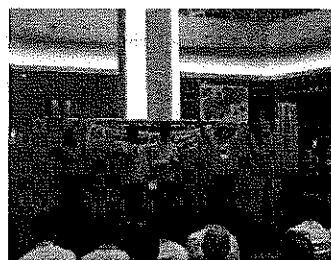
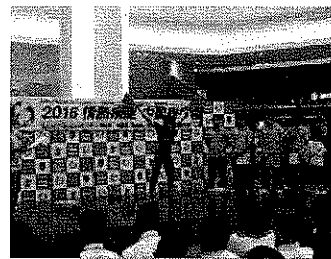
- ・ダンス
- ・岡山県9種目紹介・会場地紹介

第4部 エンディング（15分）

- ・ダンス
- ・閉会挨拶（県推副委員長）

その他

- ・展示：インターハイ年表パネル（KANKO）
- ・フロア：広報活動・応援メッセージ記入（終日）
- ・ブース：会場地市村紹介（笠岡市・備前市・美作市・新庄村）、おかやまマラソンPR
- ・控室：他県高校生との交流会（11:00～12:40）



(3) 平成29年度南東北総体（山形県）

日時：平成28年12月11日（日）10時～15時 【約5時間】

場所：山形ビックウイング

内容：プロローグ（165分）

- ・ハンドベル演奏
- ・競技種目紹介（山形、宮城）
- ・吹奏楽演奏
- ・ファッションショー
- ・和太鼓演奏
- ・書道パフォーマンス ほか

式典行事（55分）

- ・県民歌、高体連歌の演奏
- ・知事挨拶
- ・県推委員長挨拶
- ・カウントダウンボード除幕式
- ・友情の花の種伝達
- ・ダリア命名報告
- ・47インターハイ高校生代表メッセージ
- ・合唱

アトラクション（50分）

- ・競技種目紹介（福島）
- ・マーチング
- ・ゲストトークイベント（ケンブリッジ飛鳥）

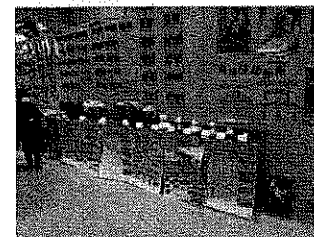
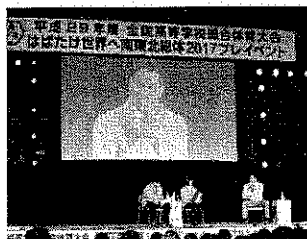
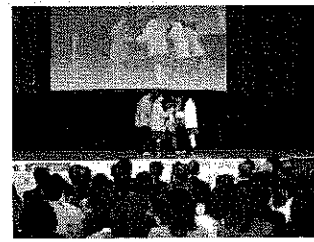
エピローグ（30分）

- ・高校生活動発表
- ・チアダンス
- ・応援団による激励応援

その他

ブース：高校生飲食、生産物販売、体験、学校紹介等展示

競技会場地ブース（飲食、観光PR）、企業ブース（企業PR）



◆必ず実施しないとイケないこと

・友情の花の種の伝達

2. 三重県の状況

(1) 県内の商業施設の状況

- （岡山県のような）大きなイベントスペースが確保できるショッピングセンターが無い。
- 県内外からの集客があるジャズドリーム長島（桑名市）では屋外イベントスペースのみで、屋内のイベントスペースが無い。
- 各地区にそこそこ大きなショッピングセンターはある。
（イオン東員、イオン四日市北、ベルシティ、イオンタウン津城山、イオン明和、イオン伊勢、イオンタウン伊勢ララパークなど）
- 来店者はいるが、興味を持ってもらい、立ち止まってもらう為の企画が必要。

(2) 高校生（商業・工業・農業など）の販売ブース、展示ブースなどや合唱、マーチング、プラス、ダンスなどとコラボする場合

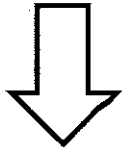
- インターハイ300日前となる10月に（10月28日（土）、29日（日））高校生フェスティバルがあるため、同時期にもう1回、別の場所で行うことは難しい。
- 高校生フェスティバルとコラボするのであれば、式典（友情の花の種伝達）の場所を確保する必要がある。

式典候補場所		
①	MieMu (県立博物館)	MieMu でスポーツのイベントを行う理由の整理が必要。
②	知識の広場 (総合文化センター中庭)	屋外ステージのため、雨天時の対応が難しい。
③	大ホール	高文祭で使用していることから、使用できる時間（10分程度）が限定される。
④	大会議室 (生涯学習センター棟)	収容人数が70人と限定される。

3. 今後のスケジュール

○2月3日（金）第2回県推進委員会

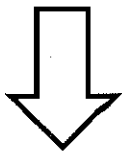
- ・方向性の確定



生徒委員：各自がイベントの「出し物」について、大まかに考える
事務局：決定した方向性を基に、場所、日程の調整

○2月16日（木）第2回地区推進委員会（会議終了後）

- ・概要（場所、日程）の確認



生徒委員：第3回県推進委員会に向けて、示された概要（場所、日程）
を基に各自がイベントの「出し物」について、更に考える
（3月16日（木）までに事務局へ提出）

○3月21日（火）第3回県推進委員会（予定）

- ・出し物の決定
- ・役割分担

300日前イベントを行う目的

【資料2-3】

・インターハイのPR

- ・まだ、インターハイが三重県で行われることを知らない人
- ・関心のない高校生にも知ってもらう
- ・あと300日でインターハイが三重県で行われること
- ・高校生が運営をしていることを知ってもらう



2018 彩る感動 東海総体

翔へ頂の志
東海空へ

実施方法の検討①

インターハイの開催を
多くの人に知ってほしい



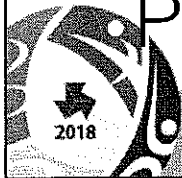
2018 彩る感動 東海総体

翔へ頂の志
東海空へ

実施方法の検討②

① たくさんの人を集めて
PRする

② 多くの人が集まる場所で
PRする。



2018 彩る感動 東海総体

翔へ誰より高く
東海の空へ

実施方法の検討③

三重県は南北に長い
ため1か所に集めるのは大変

人がたくさん集まる場所は
分散している



2018 彩る感動 東海総体

翔へ誰より高く
東海の空へ

実施方法の検討④

ショッピングセンターや
既存イベントなどすでに多
くの人が集まる場所でPR
するのが効果的



2018 彩る感動 東海総体

翔べ誰よりも高く
東海の空へ

検討案①

県内複数個所の商業施設等
でPRを実施

<メリット>

県内複数個所で実施することで広くPRが
できる。

<デメリット>

複数個所で実施することから、委員や参加
する教員、生徒の負担が増加する。



2018 彩る感動 東海総体

翔べ誰よりも高く
東海の空へ

検討案②

MieMuで式典+高校生フェスティバルでPRを実施

<メリット>

MieMu+高校生フェスティバルという今までにない取り組みができる。

<デメリット>

高校生フェスティバルの来場者は、高校生と保護者が多くを占めており、一般の来場者は少ない傾向がある。



2018 彩る感動 東海総体

翔へ誰よりも高く
東海の空へ

検討案③

式典やインターハイ種目の体験イベントを単独施設で実施

<メリット>

制約が少なく、会場や時間を自由に使える

<デメリット>

単独開催となるので、イベントに参加してもらうための集客が必要



2018 彩る感動 東海総体

翔へ誰よりも高く
東海の空へ

地区	学校名	活動ジャンル	自主的活動内容	活動予定時期	
北	桑名	1 広報活動	桑名駅前ロータリーでPR活動を行う	平成28年12月	
			新入生対象のクラブ紹介でインターハイの説明とPR活動を行う	平成29年 4月	
			行事ごとにインターハイに関するポスターを作成し校内に掲示する (2月マラソン大会、3月スポーツ大会、4月新入生歓迎会、 5月県総体、6月スポーツ大会、7月夏休み、9月文化祭・体育祭 …など)	平成29年 2月～	
		2 環境美化活動	学校周辺のゴミ拾い	平成29年 6月上旬	
				ゴミ箱に美化運動につながるポスターを貼る	平成29年 4月
	3 歓迎活動	看護科での学びを活かし、健康づくりに関する呼びかけ(例、熱中症 予防)	平成30年 月		
	4 その他の活動	県総体、東海大会、インターハイに向けて頑張っているクラブの紹介 プリント等の作成(広報活動としてのポスターと同時期に)	平成29年 2月～		
	桑名西	1 広報活動	屋内・屋外に1カ所ずつ専用掲示板を設置し、2018東海総体の最新情 報を伝える	平成29年 1月～	
			西高祭一般公開の場でパンフレットやPRグッズを配る	平成29年 9月	
		2 環境美化活動	地域と連携した清掃活動を行う	平成29年10月	
			競技会場周辺および大勢の人が利用する駅周辺の清掃活動を行う	平成30年 7月	
	3 歓迎活動	クラブの練習試合や交流行事で本校を訪れる高校生等に2018東海総体 の魅力を発信する 地域行事(久米っ子フェスタ、竹の十三夜)の場で三重県開催種目や 注目選手等を紹介する	平成29年 1月～ 平成29年10月		
	4 その他の活動	2018東海総体PRとして、校内にデコレーションツリーを飾る(事務 室前・グラウンド) 吹奏楽部ファミリーコンサートなど部活動の成果発表の場でパンフ レットを配付してもらう	平成28年12月～ 平成29年 6月 平成30年 6月		
	桑名北	1 広報活動	中学生対象学校説明会での情報提供 文化祭における特設ブースの設置	平成29年 8月 平成29年10月	
		4 その他の活動	大会応援うちわの作成	平成29年10月～	
	桑名工業	1 広報活動	文化祭でのチラシの配布	平成28年10月	
			文化祭でのウェットティッシュの配布	平成28年10月	
		2 環境美化活動	ゴミ箱の設置	平成28年10月	
		3 歓迎活動	文化祭にて七和小学校と交流	平成28年10月	
	いなべ総合学園	1 広報活動	FMいなべによる宣伝	平成29年 8月	
			昼の放送による校内宣伝	平成29年 2月	
		2 環境美化活動	地域で清掃活動 花を植える	平成29年10月 平成30年 5月	
		3 歓迎活動	花で文字や形をつくる 横断幕を作成する	平成30年 5月 平成29年 4月	
		4 その他の活動	ぼすたーを作成する	平成29年 4月	
	四日市	1 広報活動	ポスターを校内にはる	平成29年 1月	
			新聞部、放送部による校内宣伝 カウンボードをつくる	平成29年 1月 平成29年 3月	
		3 歓迎活動	横断幕を掲げる		
		4 その他の活動	駅や会場の清掃		
	四日市南	1 広報活動	集会(始業式)での大会の紹介 ポスターの製作および掲示	平成29年 1月 平成29年 1月～	
	四日市西	1 広報活動	三重県インターハイについてポスターを作成する	平成28年11月	
校内放送でインターハイ開催について告知を行う			平成29年 2月		
	3 歓迎活動	文化祭でインターハイに関する企画を行う 横断幕を制作する	平成29年 9月 平成29年 4月		
朝明	1 広報活動	学校内PR(集会などで紹介する) チラシ配布	平成28年 3月 平成28年 3月		
	2 環境美化活動	会場付近の清掃	平成30年		
四日市四郷	1 広報活動	県総体壮行会で東海総体のPRをする	平成29年 5月		
		文化祭の全体発表で東海総体のPRをする	平成29年10月		
		県総体壮行会で東海総体のPRをする	平成30年 5月		
	4 その他の活動	運動部の写真をパネル等にしてPRに役立てる 運動部の写真をパネル等にしてPRに役立てる	平成29年 5月 平成30年 5月		

地区	学校名	活動ジャンル	自主的活動内容	活動予定時期
北	四日市農芸	1 広報活動	農芸祭で、ロゴ入りのウェットティッシュとチラシを配布する	平成28年11月
			校内放送で校内に周知し、委員の募集を募る	平成29年～30年
			校内行事・集会の中で活動予定の連絡や活動報告等を行う	その都度
		2 環境美化活動	環境デーで地域の清掃活動を行う	平成29年 6月
			会場付近の清掃活動を行う	平成29年 6月
		3 歓迎活動	プランター装飾を行う	平成30年 7月～8月
	学校のモットー「挨拶は農芸の心」を心がけた、笑顔で挨拶		平成30年 7月～8月	
	四日市工業	1 広報活動	文化祭にてポケットティッシュとチラシ配り	平成28年10月
			学校新聞でインターハイに向けた話題の提供	平成29年 5月
		2 環境美化活動	ジャンパーを着て南日永駅と南四日市駅の清掃	平成28年 1月
	3 歓迎活動	登校指導のタイミングであいさつ運動を実施	平成28年 2月	
		横断幕の作成	平成29年10月	
	四日市商業	1 広報活動	ティッシュ配り	平成30年 4月
			ポスター掲示（学校・イオン・バス）	平成29年12月
			文化祭でのPR活動	平成29年10月
	4 その他の活動	グッズの作成	平成29年 8月	
	四日市中央工業	1 広報活動	学校説明会時にティッシュの配布	平成29年 8月
		2 環境美化活動	湯の山駅周辺の清掃活動	平成29年 8月
	菟野	1 広報活動	生徒会通信でインターハイに向けた話題を提供する	平成29年 3月
			中学生に向けて行われる高校生入門講座の中で宣伝活動を行う	平成29年10月
			壮行会を通じてインターハイについての話題を提供する	平成29年 5月
			地域のイベントに参加し、インターハイについての話題を提供する	平成29年11月
		2 環境美化活動	校内美化活動を積極的に行う	平成28年12月～
			校外美化活動を積極的に行う（特に駅や通学路）	平成29年 6月～
		3 歓迎活動	会場周辺のお食事や名物マップを制作する	平成29年12月
			生徒会、部活動を中心にしてあいさつ活動を行う	平成28年12月～
	4 その他の活動	会場のトイレなどの場所がわかりやすいよう案内板等を制作する	平成30年 6月	
	川越	1 広報活動	校内放送でインターハイに向けた話題を提供する	平成28年 9月
			集会の時間に広報する	平成28年10月
			文化祭の際、広報する	平成29年 9月
津田学園	1 広報活動	教育講演会でインターハイに関連する催しを企画する。	平成29年3月	
		学校新聞や校内放送でインターハイに向けた話題を提供する。	平成29年6月	
		文化祭でインターハイに関連する催しを企画する。	平成29年9月	
2 環境美化活動	駅・バス停周辺の清掃を行う。	平成29年7月上旬頃		
暁	1 広報活動	インターハイに関連したポスターを作成する	平成29年 7月	
		文化祭でインターハイに関連した催しを企画する	平成29年 9月	
	2 環境美化活動	近隣の駅、バス停周辺を清掃する	平成30年 6月	
	3 歓迎活動	挨拶運動、身だしなみの整備を行う	平成29年 9月～	
4 その他の活動	マラソン大会でインターハイのチラシ、ティッシュを配布する	平成29年 2月		
メリノール女子学院	1 広報活動	紹介動画作成	平成29年 4月～	
		Twitterアカウント作成	平成29年10月	
		ティッシュ配り	平成29年 8月	
	2 環境美化活動	ごみ拾い	平成29年 1月～	
		ヒマワリを植える	平成29年 3月～	
	3 歓迎活動	郷土料理紹介	平成29年 4月～	
歓迎の旗の作成 道案内		平成30年 4月		
海星	1 広報活動	文化祭でグッズ、チラシ配布	平成28年11月	
		近鉄四日市駅にて広告配布	平成29年 1月	
		日永イオン、イオン泊店にて広告配布	平成29年 1月	
	2 環境美化活動	地域のゴミ箱に広告配置	平成29年 2月	
3 歓迎活動	近くの店や商店街に広報	平成29年 1月		
	4 その他の活動	平成29年IH出場選手を全力で応援する体勢を作る 生徒会新聞による紹介	平成29年 7月	

地区	学校名	活動ジャンル	自主的活動内容	活動予定時期	
中	神戸	1 広報活動	鈴鹿市駅前でウェットティッシュ配り	平成29年 2月	
		2 環境美化活動	鈴鹿市駅周辺でゴミ拾い	平成29年 1月	
		3 歓迎活動	体育館内に横断幕を装飾	平成29年 1月	
	白子	1 広報活動	修学旅行でのPR (2学年生徒対象)	平成28年 9月	
			文化祭での開催PR (全校生徒、保護者対象)	平成28年10月	
			文化祭での開催PR (全校生徒、保護者対象)	平成29年11月	
		2 環境美化活動	ゴミバスターズ (学校から白子駅周辺の清掃)	平成28年12月	
			ゴミバスターズ (学校から白子駅周辺の清掃)	平成29年12月	
	3 歓迎活動	白子駅での挨拶運動	平成29年未定月		
	飯野	1 広報活動	ポスターなどを掲示してインターハイの情報を随時提供できる掲示板を設ける	平成29年 9月～	
			2 環境美化活動	駅やバス停周辺の清掃を行う	平成29年 4月～
			3 歓迎活動	明るくさわやかな気分になれるようなあいさつ運動を行う 各言語に対応したあいさつのハンドブックを作成する	平成28年12月～ 平成29年 7月～
	石薬師	1 広報活動	赤い羽根募金運動と共に、インターハイに関するティッシュを配布する	平成28年11月	
		2 環境美化活動	校内周辺の清掃を行う	平成29年 7月	
		3 歓迎活動	まごころのこもったあいさつ運動、身だしなみの整備を行う	平成29年 9月	
		4 その他の活動	大会中、選手たちに応援メッセージカードを提供する	平成30年 7月	
	稻生	1 広報活動	オープンキャンパスで広報活動を行う	平成28年 8月	
			津シティマラソンにてPR活動を行う	平成29年 1月	
		2 環境美化活動	会場付近のゴミ箱を制作する	平成30年 6月	
		3 歓迎活動	まごころのこもったあいさつ運動、身だしなみの整備を行う	平成29年 9月～	
	亀山	1 広報活動	文化祭でインターハイに関する展示を行う	平成28年11月	
			文化祭でインターハイに関する展示を行う	平成29年11月	
			校内放送でインターハイの広報を行う	平成29年	
	2 環境美化活動	駅、バス停周辺の清掃を行う	平成30年 7月		
	3 歓迎活動	会場周辺の観光マップを制作する	平成29年		
	津	1 広報活動	登校時間に合わせてウェットティッシュを配布	平成29年 1月	
			文化祭でインターハイに関連する催しを企画	平成29年 9月	
			全校集会、学校新聞でインターハイについて話題の提供	平成30年 4月	
		2 環境美化活動	駅周辺と学校までの道を清掃	平成30年 7月	
			手作りのごみ箱制作	平成30年 7月	
デザインしたごみ袋を配布			平成30年 7月		
3 歓迎活動		横断幕を学校に設置	平成29年 8月		
		会場周辺のマップ制作	平成29年 8月		
4 その他の活動		応援のぼりを設置	平成29年 8月		
		学校のHPにインターハイのことをとりあげる	平成30年 4月		
	自分たちでピラ制作・配布	平成29年 8月			
	応援カードを制作・配布	平成30年 7月			
津西	1 広報活動	文化祭でインターハイに関連する催しを企画する	平成28年 9月		
		文化祭でインターハイに関連する催しを企画する	平成29年 9月		
	2 環境美化活動	津駅周辺のゴミ拾いを行う。	平成29年 7月		
	3 歓迎活動	選手たちをお迎えするために、マナー向上に努める	平成29年 4月～		
4 その他の活動	活躍が期待される選手の情報をSNSにて紹介する	平成30年 4月			
津東	2 環境美化活動	クラブ一斉清掃	平成28年12月		
津工業	1 広報活動	ポスター制作	平成29年 2月		
		文化祭などのイベントでの広報	平成29年11月		
		ティッシュ配り	平成30年 4月		
	2 環境美化活動	駅周辺の美化活動	平成30年 6月		
3 歓迎活動	あいさつ運動、身だしなみの整備	平成30年 1月			
4 その他の活動	SNSによる広報	平成30年 1月			

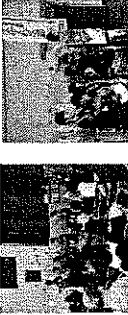
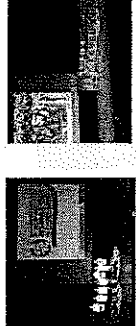
地区	学校名	活動ジャンル	自主的活動内容	活動予定時期	
中	津商業	1 広報活動	高校入門講座で中学生・保護者へのPR	平成28年10月	
			新町フェスタ（津新町通り商店街）で来場者へのPR	平成28年11月	
			学校新聞やポスターでインターハイに向けた話題を提供する	平成29年 7月	
			高校入門講座で中学生・保護者へのPR	平成29年10月	
	久居農林	1 広報活動	あいさつ運動時にジャンパー・のぼり等を活用する	平成28年12月～	
			文化祭でインターハイ関連の催しを企画する	平成29年11月	
		2 環境美化活動	学校周辺の環境美化活動に取り組む	平成29年 5月	
		3 歓迎活動	あいさつ運動を実施し、あいさつの励行を身に付ける	平成28年12月～	
	久居	4 その他の活動	実習等で、久居農林の特色を生かした活動を企画する	平成29年 4月～	
			1 広報活動	久居駅周辺にて宣伝をする	平成29年 2月
			2 環境美化活動	久居駅周辺にて清掃を行う	平成29年 2月
			3 歓迎活動	応援の幕を作成する	平成29年 8月
	白山	4 その他の活動	大会中、会場案内を行う		
			1 広報活動	文化祭で関連する催しを企画する	平成29年11月
	上野	2 環境美化活動	掲示板上にポスターを掲示する	平成28年 8月	
			学校周辺の清掃を行う	平成29年 6月	
		1 広報活動	カウントダウン広報（650・600・555・500日前等）	平成28年10月～	
			上野市駅における一般広報活動	平成28年12月	
	伊賀白鳳	2 環境美化活動	上記を踏まえ今後継続的に実施します		
			会場付近での美化活動	平成30年 4月～7月	
		4 その他の活動	（学校環境デイ）市内美化活動にジャンパーを着て実施	平成29・30年 6月	
	伊賀白鳳	4 その他の活動	各活動で利用できる「カウントダウン看板」作成	平成29年	
			1 広報活動	文化祭でインターハイに関連する催しを企画する	平成28年 9月
			2 環境美化活動	観光協会施設やその他の伊賀市の施設へポスターを貼る	期間中を通して
			3 歓迎活動	様々な大会・イベントに参加し、インターハイのPRを行う	期間中を通して
	名張	2 環境美化活動	会場へのアクセスの中心となる駅・バス停周辺の清掃を行う	平成29年 6月	
			まごころのこもったあいさつ運動、身だしなみの整備を行う		
		3 歓迎活動	観光マップを作成する		
	名張	3 歓迎活動	飲食店にポスターを貼らせてもらう	期間中を通して	
			1 広報活動	学校祭でインターハイに向けてのPRをする	平成28年～
			2 環境美化活動	100周年記念式典でチラシ等を配布する	平成28年11月
	あけぼの学園	2 環境美化活動	校外を回るゴミ拾いでスタッフジャンパーを来て参加する	平成28年～	
3 歓迎活動			「歓迎〇〇高校」の歓迎旗を準備する	平成30年 6月	
1 広報活動			文化祭での啓発	平成28年11月	
あけぼの学園		1 広報活動	成果発表会での啓発	平成29年 1月	
	文化祭での啓発		平成29年11月		
	2 環境美化活動		御代バス停、新堂駅周辺	平成28年12月	
名張桔梗丘	2 環境美化活動	御代バス停、新堂駅周辺	平成29年 3月		
		御代バス停、新堂駅周辺	平成29年 7月		
	3 歓迎活動	あいさつ運動、身だしなみ整え	平成28年10月～		
		大会ののぼり玄関前に常設	平成28年10月～		
名張桔梗丘	1 広報活動	インターハイについてのポスター掲示	平成29年 2月		
		文化祭でインターハイ関連の案内	平成29年 9月		
	2 環境美化活動	校外清掃活動	平成29年 7月		
名張西・名張青峰	1 広報活動	環境ポスター作成、掲示	平成29年 6月～		
		マラソン大会で全校生徒、PTAにPR活動	平成29年 2月		
		文化祭等でピラを配布	平成29年 9月		
	2 環境美化活動	校内放送にて広報活動	平成29年 8月		
名張西・名張青峰	2 環境美化活動	クリーン活動に参加し、学校の構内外の清掃	平成29年 2月		
		3 歓迎活動	心からの笑顔で歓迎する	平成30年 8月	
	4 その他の活動	スポーツドリンクなどを配布する	平成30年 7月		
鈴鹿	1 広報活動	選手にタオルを配布する			
		1 広報活動	生徒会通信等でインターハイに向けた話題を提供する	平成28年12月	
鈴鹿	2 環境美化活動	生徒会でインターハイに関連する催しを企画する	平成29年 6月		
		駅・バス停周辺の清掃を行う	平成29年 7月上旬		

地区	学校名	活動ジャンル	自主的活動内容	活動予定時期
中	高田	1 広報活動	目立つポスターを作成する ティッシュなどに広告を貼って配布する	平成29年 2月 平成29年 9月
		2 環境美化活動	会場付近や駅付近、学校付近を掃除 施設美化ポスター作成	平成30年 5月 平成29年 2月
		3 歓迎活動	応援のぼりを作成する 来た人に笑顔で元気な挨拶をする。挨拶運動	平成29年 6月 平成29年10月
		4 その他の活動	ゴミとなった袋や段ボールでキャラクターを作る 活動姿やマップを作成し、ホームページに載せる	平成29年 6月 平成29年 5月
	セントヨゼフ 女子学園	1 広報活動	校内放送でPR 校内カウントダウンディスプレイ実施開始	平成28年12月 平成29年 1月
	愛農学園農業	1 広報活動	収穫感謝祭でのティッシュ配り	平成28年11月
	桜丘	1 広報活動	近くのショッピングモールでPR活動を行う	平成29年 1月
		2 環境美化活動	駅付近の清掃活動を行う。	平成29年 2月
		4 その他の活動	活動内容でホームページを制作する	平成29年 1月
	青山	1 広報活動	ポスター掲示（校内、事務局前） 帰省封筒にティッシュ等を入れ、送付	平成28年12月 平成29年 1月～
南	松阪	1 広報活動	生徒会誌でインターハイに関する情報を提示する 生徒向けに総体のポスターを制作する スポーツ大会で広報を行う	平成29年 3月 平成30年 2月 平成29年 7月
		2 環境美化活動	地域の清掃活動を行う 生徒に向けて環境美化活動のポスターを制作する	平成30年 7月 平成29年 8月
		3 歓迎活動	生徒が自主的に丁寧なあいさつを行うようにする あいさつ運動向上のためのポスターを制作する	平成28年12月～ 平成29年11月
		4 その他の活動	応援の手紙を書いて、提供する	平成30年 7・ 8月
	松阪工業	1 広報活動	文化祭で横断幕とのぼりによる宣伝 ポスターを昇降口に貼る 松阪駅でティッシュの配布（駅長へ連絡） 屋の校内放送による宣伝 文化祭で宣伝（チラシ・ティッシュ・横断幕等）	平成28年11月 平成29年 1月～ 平成30年 5月 平成30年 7月 平成29年11月
		2 環境美化活動	松阪駅周辺の清掃（駅長へ連絡） 地域の清掃（愛宕川・神道川の清掃）	平成30年 7月 平成29年 9月
		3 歓迎活動	正門でのあいさつ運動とティッシュ配布 裏門西門でのあいさつ運動とティッシュ配布	平成30年 4月 平成30年 4月
		4 その他の活動	学校のホームページを利用し活動を紹介 学校のホームページを利用し活動を紹介（更新）	平成29年 4月 平成30年 4月
	松阪商業	1 広報活動	校内にポスターを掲示（ポスター作成） 広告カードを作りティッシュ配り 校内放送による宣伝	平成29年 4月 平成28年12月頃 平成29年 1月～
		2 環境美化活動	清掃活動の実施	平成29年 9月頃
		3 歓迎活動	松阪のPR活動や広告の作成	平成29年 9月～
		4 その他の活動	ホームページを作成し、学校とリンク 鶴を折り、インターハイのマークを作る	平成28年12月 平成29年中
	飯南	1 広報活動	連携中学校文化祭でのPR 文化祭でPR 学校開放日にて全国総体のPR	平成28年11月 平成28年11月 平成29年 6月
		2 環境美化活動	バス停の掃除 近隣施設の美化活動	平成28年12月 平成29年 6月
		3 歓迎活動	あいさつ運動実施 応援グッズ製作	平成29年 7月 平成29年 4月
	相可	1 広報活動	文化祭式典でのPR 吹奏楽部定期演奏会でチラシ配布	平成29年10月 平成29年12月
2 環境美化活動		通学路の清掃活動	平成29年 4月	
4 その他の活動		ツイッターなどSNSを利用した広報	平成29年 4月	





地区	学校名	活動ジャンル	自主的活動内容	活動予定時期
南	昴学園	1 広報活動	文化祭でインターハイに関連する催しを企画する	平成29年11月
			学校新聞や校内放送でインターハイに向けた話題を提供する	平成29年 3月
	2 環境美化活動	本校周辺や本校近辺の駅・バス停の清掃活動をする	平成29年 3月	
	宇治山田	1 広報活動	集会等でインターハイ開催の話題を提供する	平成29年 3月
			PTA通信等で開催について知らせる	平成29年 7月
		2 環境美化活動	地域の美化活動を行う	
	伊勢	3 歓迎活動	あいさつ運動を行う	
		1 広報活動	体育祭でインターハイの横断幕を掲げる	平成29年 6月
			文化祭でインターハイに関する催しを企画する	平成29年 9月
		2 環境美化活動	校外の清掃活動を行う	平成28年10月
	伊勢工業		駅・バス停周辺の清掃を行う	平成29年10月
		3 歓迎活動	会場周辺の観光マップを製作する	平成29年10月
		4 その他の活動	活動を紹介するホームページを製作する	平成30年 4
		1 広報活動	文化祭におけるPR活動	平成28年11月
	宇治山田商業		校内専用PRポスターの作成	平成28年11月
		2 環境美化活動	第1回ごみゼロウォークとのコラボでゴミ拾い	平成29年2月
		1 広報活動	ララパークにて小学生とウェットティッシュ配り	平成28年11月
			ララパークにて伊勢市内の高校と合同ウェットティッシュ配り	平成28年12月
	明野	3 歓迎活動	会場周辺の観光マップを制作する	平成30年 7月まで
		4 その他の活動	パネル（等身大）を作成する	平成29年 5月
	鳥羽	1 広報活動	文化祭のステージ発表でPR活動を行う	平成28年11月
		2 環境美化活動	明野駅で清掃活動を行う	平成28年 2月
		1 広報活動	ポスター、のぼり、横断幕の設置	平成28年 9月
			文化祭、体育祭などでのPR企画	平成28年11月～
			オープンスクールでのPR活動	平成29年 8月
		2 環境美化活動	校内美化	平成28年12月
校外清掃運動	平成28年12月～			
志摩	3 歓迎活動	観光マップづくり	平成30年 3月	
		身だしなみの整備、挨拶運動	平成29年 4月～	
	1 広報活動	ポスター等を様々な箇所に掲示する	平成28年 9月～	
		文化祭来場者に宣伝をする	平成28年10月	
水産		文化祭でインターハイに関連する催しを開催する	平成29年10月	
	2 環境美化活動	学校・駅・バス停周辺の清掃を行う	平成28年 9月～	
	3 歓迎活動	まごころのこもったあいさつ運動を行う	平成28年 9月～	
	4 その他の活動	活動を紹介するHPを作成する	平成29年 4月～	
南伊勢 (南勢校舎)	1 広報活動	ポスターの作成	平成29年 6月	
		学校の掲示板にて宣伝	平成29年 1月	
	2 環境美化活動	清掃活動の実施	平成30年 5月	
南伊勢 (度会校舎)	3 歓迎活動	水産高校で作った加工品を提供する	平成29年12月	
		地域のマップを作成する。	平成29年10月	
	1 広報活動	文化祭時インターハイの横幕を掲げたり催しを企画する	平成28年11月	
尾鷲		中高連携一貫授業において中学生にインターハイのPRをする		
		吉本興業とのふるさと劇団公演時に地元住民に話題を提供する。	平成28年12月	
	2 環境美化活動	漁港周辺の清掃活動を行う	平成28年12月	
尾鷲	3 歓迎活動	SBP活動を通して郷土の特産物を紹介・販売する（検討中）	平成28年～	
	1 広報活動	文化祭で生徒会企画とコラボレーションし、景品にウェットティッシュを配布してもらう	平成28年10月	
尾鷲		交流活動の中で、チラシを配りPRする（ケアハウス、特別支援学校、社会協議福祉会など）	平成29年度	
	4 その他の活動	本校での部活動の支援、三重インターハイに向けて意識づけなどの合同活動、合同練習	平成28～30年	
尾鷲	1 広報活動	文化祭でインターハイに関連する催しを企画する	平成29年 9月	
		地域住民への広報活動	平成29年10月	

地区	学校名	活動ジャンル	自主的活動内容	活動予定時期	
南	木本	1 広報活動	奉仕活動で垂れ幕を持ちながらゴミを拾う	平成29年 2月	
			集会で全校生徒に紹介する	平成28年12月	
			体育祭で垂れ幕を持って行進する	平成29年 6月	
		2 環境美化活動	駅周辺の清掃活動を行う	平成29年 7月	
			会場付近の清掃活動を行う	平成30年 6月	
		3 歓迎活動	応援旗を制作し、会場付近に設置する	平成30年 4月	
			校内で挨拶運動の奨励を行う	平成30年 4月	
		4 その他の活動	校内推進委員会の活動状況をHPに掲載する	平成29年 1月	
			垂れ幕を体育館の一角に掲げる	平成29年 5月	
			文化祭でインターハイに関連した催しを行う	平成29年 9月	
		紀南	1 広報活動	文化祭でインターハイに関連する催しを企画する	平成28年10月1日
				観光施設パーク七里御浜での広報活動	平成29年 4月～
	地元新聞や観光協会にインターハイ広報活動の協力をお願いする			平成29年 4月～	
	2 環境美化活動		駅・バス停周辺の清掃を行う	平成29年 4月上旬	
		七里御浜海岸の清掃活動	平成29年10月上旬		
	3 歓迎活動	歓迎活動の企画・立案	平成29年 1月～		
	4 その他の活動	学校のHPで活動を紹介してもらう	平成29年 5月～		
	三重	1 広報活動	ポスターを制作し校内に掲示する	平成28年 2月	
			校内でインターハイに向けた話題を提供する	平成28年 2月	
	皇學館	1 広報活動	県にSNSの公式アカウントを作って頂いて各校の委員会から情報発信する	平成29年 1月～	
			各校の委員が当番校を決めてその学校に出向き会議やアピール活動を行う	平成30年 5月～	
		2 環境美化活動	清掃の日を県全体の高校で統一し、一斉に会場や観光名所、駅等で他のNPO等と一緒にを行う	平成30年 5月～	
			ゴミ箱に三重の名所や総体の文字等を描く	平成30年 7月～	
	3 歓迎活動	御木曳の木遣を各地区のできるだけ多数の高校生に歓迎時や開会式にて披露する	平成30年 4月～		
4 その他の活動	大会中に県営競技場に御木曳車を展示する	平成30年 7月～			
	「菓子博」で総体のブースを設けてもらい活動	平成29年 4月～			
	伊勢の「市民活動」「ボランティア」等のフェスティバルに総体のブースを設けてもらい活動				
伊勢学園	1 広報活動	ショッピングモールにてチラシ・ティッシュの配布	平成28年12月		
		全校朝礼でPR活動	平成28年12月		
		全校朝礼でPR活動	平成29年 7月		
	2 環境美化活動	会場周辺の清掃等を行う	平成30年 3月		
		清掃活動や製作活動を行う	平成30年 6月～		
	3 歓迎活動	のぼりや伊勢の紹介(店の紹介など)を示したマップなどを作る	平成29年 2月		


【準備委員会・県推進委員会】


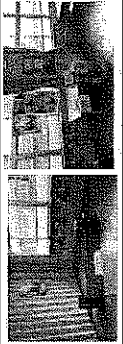
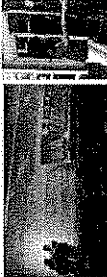






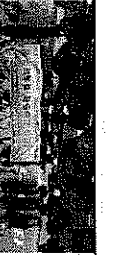
No.	学校名	日時	参加者		活動内容	写真等
			生徒	教員		
1	桑名・桑西 海星・神戸 津西・明野	H28.9.17	6	6	準備委員会の生徒委員が津西高校文化祭でインターハイのPRを実施。	
2	桑名・桑西 桑北・神戸 四日市工業 津・津西 松阪商業 相可・明野 名張・木本 海星・皇學館	H28.10.23	14	14	県推進委員会の生徒委員がみえ高校総合文化祭のステージでインターハイのPRとして、パワーポイントを使って中国総体の様子の紹介を行ったあと、インターハイクイズを実施。 終了後、会場周辺にてインターハイの子ラシ・ウエットティッシュを来場者に配布した。	







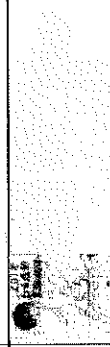
【地区推進委員会】

No.	学校名	日時	参加者		活動内容	写真等
			生徒	教員		
1	明野・木本 宇治山田商業	H28.12.23	3	4	南地区推進委員会の生徒委員が全国高校女子ソフトボール選抜熊野大会の開会式でインターハイのPRを行ったあと、来場者にチラシ・ウエットティッシュの配布を実施。	
2	伊賀白鳳 名張・白子 神戸・津西 津・稻生	H29.1.29	19	6	中地推進委員会の生徒委員が津シティマラソンのスタート・ゴール地点で、選手の応援を行ったあと、選手来場者にチラシ・ウエットティッシュを配布して啓発を実施。	
3	桑名・桑名西・津野 四日市南・四日市商業 加藤 タリ・徳島大学 加藤 加藤・四日市工業 四日市四郎	H28.2.4	43	11	北地推進委員会の生徒委員がイオンモール四日市北にて、店舗出入口等で広報チラシ・ティッシュの配布及び横断幕、大会PRポスターの掲出をして啓発を実施。	
4	尾鷲・木本 紀南	H29.2.10	16	4	南地推進委員会の生徒委員が熊野市役所、紀南地域活性化局、イオン熊野店にて啓発を実施。熊野市役所では熊野市教育長への参拝訪問後、市役所関係所屬を訪問し大会告知及び協力要請。紀南地域活性化局では紀南地域活性化局長への表敬訪問後、関係所屬を訪問し大会告知及び協力要請。イオン熊野店では店舗出入口等で広報チラシ・ティッシュの配布・大会PRポスターの掲出を実施。	

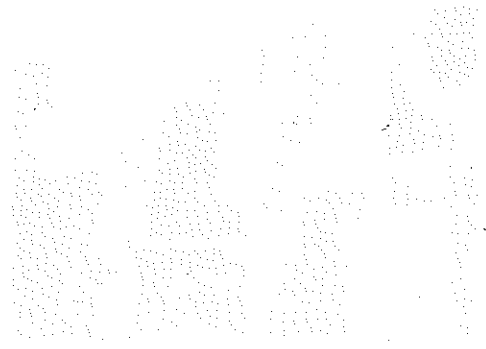
学校推進委員会活動状況

No.	学校名	日時	分類	参加者		活動内容	写真等
				生徒	教員		
1	桑名	H28.12.20	広報活動	18	5	・17時～18時までの1時間、桑名駅前ロータリー付近でPR活動を実施（チラシとウェットティッシュの配布） ・桑名駅前で行うため、近隣の高校にも呼びかけてはどうかと考案、北地区の代表高校（桑名、桑西、四郷、海星）にも呼びかけた。	
4	桑名工業	H28.10.28	広報活動	4	1	文化祭で広報活動を実施。 ・オープニングの最後に全校生徒の前でパワーポイントを使い2018インターハイ開催のPR ・文化祭2日目に推進委員によるピラ、ウェットティッシュ配り	
6	川越	H28.10.14	広報活動	1	1	推進委員長自ら昼休みに放送で全校生徒にインターハイの告知を実施。	
		H28.11.2	広報活動	940	40	壮行会後に、平成30年度全国高等学校総合体育大会の川越高校推進委員長の西本梨乃と推進委員の川本陽菜と推進委員の水谷元紀の三人から、広報と協力の依頼を実施。	
		H28.11.2	広報活動	15	7	体育館に横断幕を設置することで、体育館を利用する授業や運動部に広報することとで意識を高めた。	
8	四日市南	H29.1.10	広報物品	5	0	正門横の校舎の壁に横断幕を設置し（昨年秋季より）、登下校時の生徒や来校者に広報することとで意識を高めた。 3学期の始業式のあとに時間を設定してもらい、校内推進委員会のメンバー5名から全国大会開催の紹介と協力の依頼を行った。特に、学校から近距離にある四日市市中央緑地公園ではサッカー一競技が開催されることも取り上げて関心を持ってもらうことに努めた。	
12	四日市農芸	H28.11.12	広報活動	2	1	本校文化祭（農芸祭）において、ウェットティッシュ・チラシの配布を通じて広報活動を実施。 武道場で開催された学校説明会で、中学生や保護者が約70名に対し広報活動を実施。	
13	四日市工業	H28.10.28	広報活動	6	1	・10月28日に行われた学校祭にて、パンフレット100枚とポケットティッシュ300個を生徒と来校者に配布。推進委員の6名が参加し、生徒が多く集まる食品売り場会場や昇降口にて活動を実施。	
19	白子	H28.9.29	広報活動	2	-	修学旅行先でのホテルで、チラシを見せながら、平成30年度インターハイの詳細を話した。	
		H28.10.27	広報活動	1	-	文化祭で全校生徒や保護者の前で、平成30年度インターハイの開催について説明を実施。	

No.	学校名	日時	分類	参加者		活動内容	写真等
				生徒	教員		
20	石薬師	H28.11.3	広報活動	3	1	鈴鹿イオンモールに許可を得て、PR活動を実施。 当日はピラとウエットティッシュを配布し、多くの方に2018年に行われる東海総体をPRすることができた。	
21	亀山	H28.11.1	広報活動	13		文化祭でインターハイに関する展示を実施。 2 亀山市で行われるウエイブリッツが競技のPRのため、ウエイブリッツのブースが持ち上げられたパベルの展示を実施。	
25	津西	H28.9.15 H28.9.17	広報活動	13	1	全国高校総体のPRを本校文化祭の開催式において、行った。当日は校内推進委員と生徒役員とで協力をして行い、全校生徒に関心を持ってもらうことになげられた。一般公開日には来場者へのPRとして、受付にてインターハイのチラシとウエットティッシュを配布した。また、校内推進委員はそれぞれ発表の時の合間を使ってチラシ、ウエットティッシュの配布を行った。	
26	津東	H28.12.1	広報活動	400	40	毎年度2回、行っている校内のクラブ一斉清掃の開催行事を、2018年インターハイ三重県大会の横断幕を上げたステージの前で行いました。その席で、2年後にインターハイを三重県で開催すること、今の1年生部員が3年生の時にその時が来ること、学校が立地する津市内では5競技を開催する予定であることを伝えました。	
35	松阪商業	H29.2.9	広報活動	393	50	松阪商業高校でおこなわれた学習成果発表会で、1・2年生を対象にインターハイ必読動画とパワーポイントによる三重インターハイの説明をおこなった。動画はインターハイに向け部活動を盛り上げようという内容でした。	
36	飯南	H28.11.20	広報活動	7	2	連携中学校の飯南中学校と飯南中学校で、全国総体のPRを実施。 中学生やその保護者の方、職員の方にも知ってもらうことができ、有意義なものになりました。 また本校の文化祭の1日目・2日目に、受付の所にPRブースを設置しました。本校の生徒にも継続して呼びかけ、注目していただきたいと思います。	
40	伊勢	H28.10.7	環境美化	100	7	校外の清掃活動を行い、その中で東海総体のPR活動を実施。 生徒会、硬式野球部、軟式野球部、陸上部、各クラス美化係と約100名の生徒が参加。 生徒会の生徒を中心に、東海総体の応援のほりを片手に持ちながら活動を行い、バス停付近、幹線道路沿いでは多くの方々にPR活動ができました。	
41	伊勢工業	H28.11.2	広報活動	250	10	・1学年全生徒による自作インターハイPRポスターのモザイクアートの作成。文化祭で披露後、校長室前に展示。 ・文化祭のステージ発表でインターハイのPRを実施。 ・自作インターハイPRポスターを10種類作成。校内各所へ展示。	
42	宇治山田商業	H28.11.19	広報活動	3	1	本校主催のイベント「ギッツビジネススタウンinラパーク」にて小学生へ就労体験として、広報活動のブースを作成。 30分間の就労体験の中で15分程度プレゼンテーションで総体の説明を行い、その後15分程度ウエットティッシュ、チラシの配布実施。 高校生3人が小学生の相手を行い全3回実施。小学生は計7人参加。	
44	明野	H28.11.17	広報活動	全校生徒	全教員	文化祭で伊勢市観光文化会館で行われた舞台発表でプログラムに入れてもらい、PR活動を実施。(クイズも含む) また、全校生徒と先生方にウエットティッシュとピラを配布。	

No.	学校名	日時	分類	参加者		活動内容	写真等
				生徒	教員		
45	南伊勢 (度会校舎)	H28.10.28	広報活動	7	2	・文化祭の生徒会企画で「宝さがしゲーム」を実施。校舎内に隠された宝(ビー玉)を探し当て、生徒会室に持ってくる景品(ウエットティッシュ)と交換できるというゲーム。配布時に委員長から三重インターハイの告知を行った。	
		H29.2.1	広報活動	7	1	・度会町教育委員会の主催である度会町ジョギング大会の補助員を依頼された。その場所と同時に、推進委員会の活動として、PR活動を行わせてほしいとお願いした。 大会の補助員の仕事が終わり、マラソン参加者に炊き出しや試作品などの参加品を配布している横で、推進委員会の机を置き、三重インターハイのチラシとウエットティッシュをセットにして広報した。	
47	志摩	H28.10.1	広報活動	3	1	文化祭来場者に対して、ウエットティッシュを配布し、インターハイのPR活動を 実施。	
49	上野	H28.10.20	広報活動	4	0	・1年生生徒昇降口において、東海総体開会式650日前に、対象学年となる1学年に朝の挨拶運動とともに、広報活動を実施。 ・昼休みに生徒実行委員長の市橋自ら放送にて啓発を実施。	
		H28.12.12	広報活動	8	0	本来であれば12月5日が600日前になるのだが、考查期間中であつたため次の酒明け初日に実施。 土野市駅前で、伊賀鉄道利用者や駅周辺の通行人に広報活動を行った。	
50	伊賀白鳳	H29.2.1	広報活動	8	0	カウントダウン広報550「上野西小学校前での登校時、挨拶運動」 ・隣接校の伊賀市立上野西小学校に許可を得て、小学生に挨拶運動を実施。 ・実行委員8名で行う。早期7時40分から小学生の登校時間である8時20分までの40分間余り広報活動として朝のあいさつ活動を行った。	
						H29.2.12	広報活動
51	あけぼの学	H28.11.10	広報活動	230	25	・文化祭での啓発(全校生徒、全教員にチラシ、ウエットティッシュ配付。 ・来校のPTA、地域住民、卒業生にチラシ、ウエットティッシュ配付。 ・文化祭パンフレットに手書きのポスターを挿入(委員長作成)	

No.	学校名	日時	分類	参加者		活動内容	写真等
				生徒	教員		
54	名張	H28.10.31	広報活動	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭の前日の全校集会で、実行委員7人がインターハイのPRを実施。 ・全校生徒にチラシとウエットティッシュを配布。その後、インターハイの概要を紹介した後、中地区副委員長の松浦が挨拶。 ・学校祭の当日に来場してくれた保護者にチラシとウエットティッシュを配布。 	
		H28.11.12	広報活動	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・100周年記念式典において、インターハイの旗のある玄関で来賓のお出迎え。 ・受付で、チラシとウエットティッシュを来場者全員に配布。 ・本校の学校看板の下に今年度のインターハイの出場者を掲げると共に、横断幕を設置して来校者へのインパクトを与えました。 ・横断幕は、その後も本校のクラブハウスの2階に掲げてあります。 	
		H28.12.10	広報活動	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の柔道県大会でのPRを実施。閉会式で、副委員長の松浦くんが、高校総体の説明をした後、12、3年生の皆さんは、三重県でインターハイが開かれるときに高校生です。是非、出場できるように頑張ってください」と激励。その後、チラシとウエットティッシュを中学生と保護者、先着250名に配布。 	
57	紀南	H28.10.1	広報活動	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭2日目（公開日）において昼休み中に構内前にて生徒委員7名・教員1名でインターハイのPR活動を実施。インターハイPRのぼりと横断幕を利用した。スタップジャンパーを着て本校生徒や来場されていた地域住民・保護者の方々に向けてインターハイについてPRと今後 ・学園祭（一般公開日）の際、入場ゲート受付にてチラシ・ウエットティッシュの配布。 ・横断幕の設置。スイングバナナーの設置。 ・体育館にてチラシ・ウエットティッシュの配布とともにインターハイのPRを実施。 	
74	海星	H28.11.13	広報活動	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内にポスターを掲示。 ・保護者あて送付文書にチラシとウエットティッシュを同封してインターハイのPRを実施。 	-
79	青山	H28.12.1	広報活動	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・愛農学園で毎年行われている収穫感謝祭（保護者、地域住民、同窓会、総勢約500名）において、ウエットティッシュを配付。 	
80	愛農学園	H28.11.12	広報活動	60	30	<ul style="list-style-type: none"> ・愛農学園で毎年行われている収穫感謝祭（保護者、地域住民、同窓会、総勢約500名）において、ウエットティッシュを配付。 	
		H28.12.16	広報活動	760	40	<ul style="list-style-type: none"> ・全校朝礼において、学校推進委員3名（浅沼、高敷、中村）が中心になり、インターハイの簡単な説明と実際に経験された先生へのインタビューを行い、生徒たちへインターハイのイメージをしてもらいました。 	
83	伊勢学園	H28.12.20	広報活動	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治山田商業の推進委員を中心に、本校生徒を含め、他高校生と一緒に伊勢のショッピングモールにて広報活動を実施。ウエットティッシュ、チラシを配布しました。 	



「2018 彩る感動 東海総体」
各地区推進委員会活動計画企画案一覧

【資料4-1】

地区	学校名	活動アイデア
北	桑名	イベント（かもしかマラソン、四日市祭り）での広報活動 テーマソングの作成
	桑名西	平成29年11月18日(土)・19日(日)に開催される「ゆるキャラ®グランプリ2017 in 三重桑名・ナガシマリゾート」でPRを行う。
	桑名北	ユネスコ無形文化遺産に登録が決まった「桑名石取祭」「富田鯨船まつり」と協働したイベントの開催 主要駅周辺の学校でグループを作り、共同清掃活動の実施
	桑名工業	ポスターの掲示
	四日市	北勢地区の風景・会場・選手を映したPVをつくる。
	四日市南	大会中に出たペットボトルのふたや缶のプルトップの回収作業を行い、それで得たお金を高校生の活動等のために利用していく
	朝明	地域の方や付近の学校と連携を取り、清掃活動を行う。
	四日市四郷	各地区の祭り（春・秋）で東海総体のPRを行う。 芸術コース発表会（1月）で一般来場者に東海総体のPRを行う。
	四日市農芸	四日市祭りでのPR活動。 ナガシマスパークランドでのPR活動。
	四日市工業	近隣の高校とともに最寄駅の清掃活動を行う。（平成29年度 8月を予定） 現在、他校と連携して行う活動を、地区委員長の曾根誠太郎を中心に調整中。
	四日市商業	清掃活動（大規模なもの）
	菰野	湯の山線沿線の学校に協力してもらい、駅周辺の名物やランチマップを作成する
	川越	FM四日市で広報ができないか？
	津田学園	各地区での清掃活動を企画する。
	メリノール女子学院	近くの中学校を訪問してアピール活動を行う。
	海星	工業（四日市）や市内の学校と合流し、広報活動

「2018 彩る感動 東海総体」
各地区推進委員会活動計画企画案一覧

【資料4-1】

中	飯野	地域のイベントでPR活動を行う。 各言語に対応した競技会場周辺の地図を作成する。
	石薬師	石薬師地区で行われる、祭りでのPRを計画する。
	稻生	津シティマラソンなど中勢地区のイベントに参加し、PR活動を行う。
	津	「津まつり」や「すずフェス」でPR活動を行う。
		会場周辺で高校生が行けるような飲食店やお店を探し、手作りのマップを作る。
		各学校の一番近い会場で清掃活動。
	津西	鈴鹿、伊賀、津のそれぞれの地区でまとまって、催し物が行われているところでのPR活動を行う。例：津の春祭りに津地区の推進委員でPR活動を行う。
		三重県出身の芸能人に手紙を送り、応援をお願いする。
		中地区より県推進委員会に企画を提案する。例：①数多くの会場を回ってもらうために、スタンプラリーを行う。②会場に自分で作ることでできるストラップブースを設置する。
		PR活動等を行うことを積極的に報道機関（新聞、TV、ラジオ等）に広報する。
	津工業	会場周辺の美化
		ポスターのバス内掲示
	津商業	カウントダウンボードを作成する。
		折鶴でシンボルマークを作成する。
	久居農林	地域での清掃活動を計画する。
	上野	来年の上野シティマラソンでの広報活動ができるのではないかな。
	伊賀白鳳	各地区の中学校の公式戦や祭りでのPRを計画し、PR内容を各学校推進委員会へ募集する。（伊賀地区としての独自色を出す）
		観光マップを作成する。
	名張	桜祭り、忍者フェスタなど地域のイベントでチラシなどを配布する。
		柔道競技の県大会（中学・高校）でチラシとウエットティッシュを配布する。
名張桔梗丘	名張・伊賀の観光名所やおすすめのレストランなどを紹介する観光マップを作成する。	
名張西・名張青峰	各学校での行事で広報する。	
	近隣の中学校にインターハイの広報ビラを配布し、広報活動を行う。	
	近隣のショッピングセンター等で広報活動する。	
高田	おすすめスポットや、飲食店、お土産のマップを作る。	
セントヨゼフ女子学園	地区の学校でインターハイ出場が有力選手の紹介を紹介を行い、地区で有力選手を応援する取り組みを行う。	
愛農学園農業	11月12日（土）にもたれる収穫感謝祭は地域の方々にも広告などで案内し、毎年500名ほどの来客がある行事です。その時に、ティッシュなどがあれば配り総体のことをピーアールできると思います。	
桜丘	各地区での清掃活動を企画し、各学校（生徒会）に依頼をする。	

「2018 彩る感動 東海総体」
各地区推進委員会活動計画企画案一覧

【資料4-1】

南	松阪	地域のイベントでPR活動を行う。 地区の学校と連携して、応援メッセージを作成する。
	松阪商業	駅にポスターを貼る。 プランターの設置。 ゴミ箱の設置。
	飯南	各高と連携し、応援グッズ製作。
	宇治山田	高校生広報活動 近隣の商業施設で広報PR活動を行う
	伊勢	地区内の学校が合同で、駅、スーパー等の場所でPR活動を行う。
	伊勢工業	ショッピングセンターでのPR活動
	宇治山田商業	伊勢市内の高校（宇治山田高校・伊勢高校・伊勢工業高校・宇治山田商業高校・皇學館高校・伊勢学園高校）が協力し地元ララパークにてウェットティッシュとチラシを配布。 三重県の高校生の技術を集めて、イベントのときにお客さんに楽しんでもらうためのパネルを作成したい。パネル名称は「インターハイタッチ」三重県ゆかりのスポーツ選手の等身大パネルで手の部分がボタンになっている。ハイタッチをしてボタンを押すとパネル上部にカウントされ、ハイタッチの累計数が表示される。インターハイまでに100万人の応援ハイタッチを目指す。パネルの選手は知名度から津市出身のオリンピック金メダリスト吉田沙保里選手、松阪市出身の土性沙羅選手などを考えている。予算がつけば高校生の技術だけでも実現可能だと思います。
	明野	伊勢ララパーク店でPR活動を行う。
		熊野山崎運動公園で行われる熊野選抜（ソフトボール大会）でPR活動を行う。
		伊勢イオン店でPR活動を行う。
	鳥羽	地区での清掃活動
		地区の祭りや行事でのPR活動（ティッシュ配りなど）
		観光スポット、飲食店、土産物売り場などにPR活動を要請（のぼりを置いてもらう）
	志摩	志摩高校・水産高校フェスタにてインターハイに関する広報活動を行う。
	水産	ポスター等で東海総体の周知を図る
	南伊勢 （南勢校舎）	中高連携しての清掃活動に地域住民の参加を得て、地区を挙げての清掃活動を企画していく。（検討中）
	南伊勢 （度会校舎）	度会町のイベントに参加をさせてもらい、チラシ等を配る。（度会町役場の産業振興課とどういことができるか相談中）
	尾鷲	会場周辺にモニュメントを制作する。
		駅周辺での海上アクセスや地域の観光などを案内する。
	木本	地区のマラソン大会の会場でチラシを配る。
地区のイオン各店でチラシを配る。		
紀南	各地区での清掃活動を企画し、各学校へ依頼する。	
	競技会場周辺の飲食店や観光スポットなどを紹介する観光マップを作成する。	
三重	ポケットティッシュを配布する。	
皇學館	近隣や自分の母校の中学校へのPR活動（平成30年5月～）	
伊勢学園	伊勢の大きな行事の際にPR活動を行う	

第1回各地区推進委員会意見交換の企画案

○北地区推進委員会（H28.9.15）

- ・電車のラッピング
- ・SNSでの広報
- ・中学校での広報
- ・ショッピングモール、祭りでの広報
- ・県全体で一つの作品を作る
- ・タペストリーの作成

○中地区推進委員会（H28.9.21）

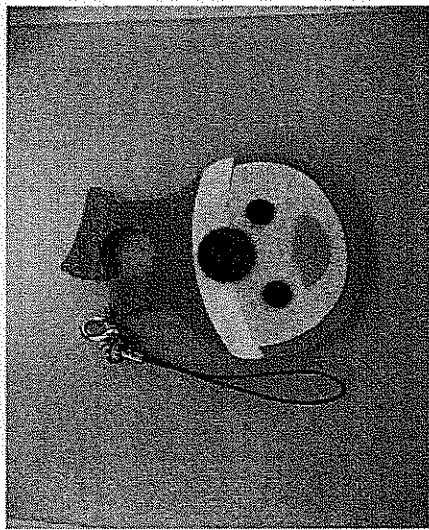
- ・歓迎パレードを開く
- ・町のおいしいものマップの作成
- ・会場ごとのスタンプラリー
- ・忍者の衣装をインターハイ仕様にする
- ・牛にインターハイアピールの服を着せる

○南地区推進委員会（H28.9.13）

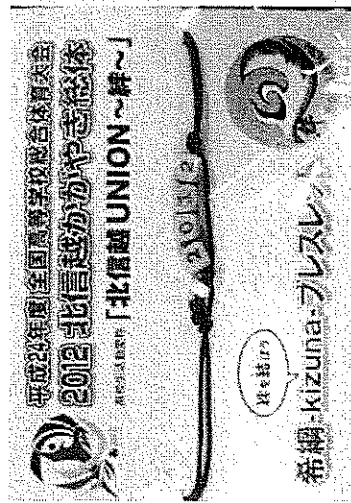
- ・おかげ横丁にシンボルマークを設置
- ・ポケットティッシュに広告を入れて配布
- ・駅周辺の清掃活動
- ・周辺マップの作成

手作り記念品の製作について

1. 先催県での取組事例



①フェルトで作った
アップリート君ストラップ
〈平成23年度青森県〉



②絆を結ぼう
希綱-kizuna-ブレスレット
〈平成24年度新潟県〉



③伝統工芸である
竹細工のストラップ
〈平成25年度大分県〉

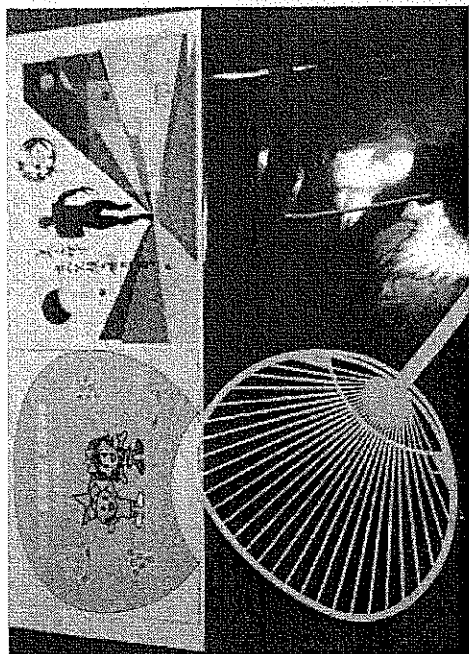


④富士山をイメージした
三色のミサンガ
〈平成26年度山梨県〉

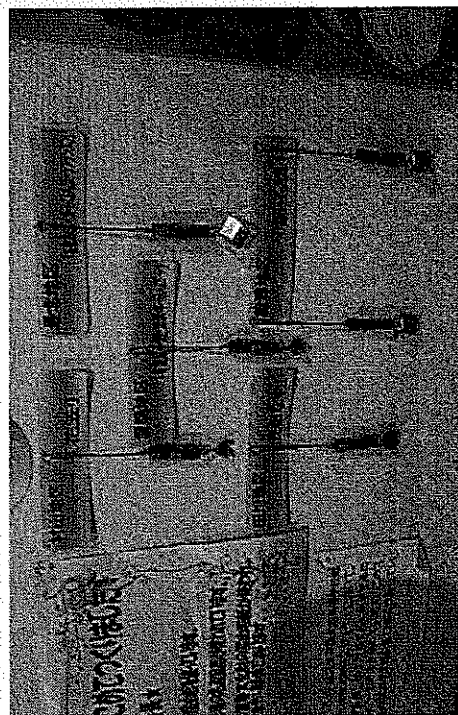
手作り記念品の製作について



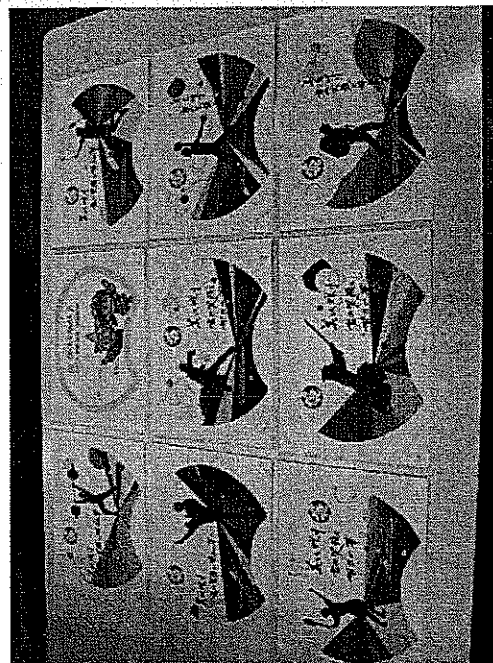
⑤大会マーク入りストラップ
〈平成27年度和歌山県〉



⑥うちわ
〈平成28年度岡山県〉



⑦ストラップ
〈平成29年度山形県〉※作成中



⑥うちわ各競技デザイン
(各校応援メッセージ入り)

手作り記念品の製作について

2. 平成30年度三重県取組の検討

【検討の視点】

- (1) どのような要素を盛り込むか。
(要素として考えられる事項の例)
- ・もらってうれしいもの
 - ・もらってその場で使えるもの
 - ・持って帰って日常使えるもの
 - ・持って帰りやすいもの
 - ・思い出に残るもの
 - ・三重県らしいもの
 - ・製作作業を高校生で分担できるもの など
- (2) 具体的にどのような品目にするのが良いか。

(先催県での例)

ストラップ、ミサンガ、ブレスレット、うちわ など

- (3) 製作費は先催県と同じくらいか。

先催県の製作費は概ね100円～200円程度。

※三重県では130円程度を想定

手作り記念品の製作について

3. 意見交換

【執行部で考えた記念品の案】

- ①うちわ
- ②ミサンガ
- ③ボールペン

【意見交換の進め方】

(1)①～③案について、どの案が好ましいか、デザイン、盛り込みたい要素等を考える。

(2)①～③案以外に、④案を各グループで考える。

※④案は、良い案が出なければ「なし」でも可。

(3)①～④案について、グループで出た意見を発表。

手作り記念品の製作について

(参考) 手作り記念品とは

○これまでのインターハイでは、大会に参加する選手・監督に、開催県ならではのおもてなしの気持ちや、選手を応援する気持ちを込めて高校生が手作りした大会参加記念品を配布しています。

○手作り記念品の製作に関して、高校生活動の一環として、品目、デザインの検討、組立や手書きメッセージの記入、袋詰め等作業を、高校生が担当し、製作されています。

○H30三重県開催の競技種目は15競技で、参加する選手・監督の人数は、約18,000人です。

○今後、H30インターハイ開催に向けて、どのような品目、デザインの記念品を製作するか、生徒委員の皆さんで検討いただき、詳細を決定したうえで、具体的な作業スケジュールを考え、製作作業を分担して、完成させていくこととなります。

学校推進委員会意見交換資料

1. 県推進委員会(2/3)の意見交換で出た意見

②ミサンガが良いという意見

- ・手作り感がある
- ・気持ちが伝わりやすい
- ・教えてもらえれば誰でも作れる
- ・低コストで出来る
- ・種類が豊富
- ・色を変えれば何種類でも作れる
- ・伊賀くみひも(伊賀地域の特産品)を使ったミサンガを作る

③ボールペンが良いという意見

- ・ヒノキ(県南部の特産品)を使って作る(予算がかかるので小さ目のサイズで)
- ・ボールペンのキャップなどに、名産品のマスコットを付ける。
- ・台紙に応援メッセージを書く

その他の意見

- ・伊賀くみひもを使ったバッチを作る。

【反対の意見】

①うちわ

- ・すぐに使ってもらえるが、その場で捨てられてしまうのでは
- ・使っている間に壊れてしまうかも
- ・持って帰ってもらえても、その後捨てられてしまうかも

②ミサンガ

- ・作る人によってクオリティが異なる

③ボールペン

- ・自分たちで手作り出来ない
- ・経費がかかる
- ・インクが切れたときに捨てられてしまうかも

2. 各学校推進委員会での意見交換

地区推進委員会(2/16)で意見交換を行っていただくために、各学校推進委員会で、以下のことについて意見交換を行ってください。

(1) 県推進委員会で意見交換した3つの案

- ①うちわ
- ②ミサンガ
- ③ボールペン

について、1. 県推進委員会の意見交換で出た意見を参考に、どの案が好ましいか、選択の理由、各案のメリット、デメリット、盛り込みたい要素について意見交換をしてください。

(2) 上記①～③以外にも、良い案があれば、1つに絞り、意見を出してください。

※良い案が出なければ「なし」でも可です。

(3) 意見交換の際に留意してほしい事項

①「手作り」記念品といっても、どこまで「手作り」するか、先催県の取組は様々です。

(例1) 部品は業者に作ってもらい、組立を高校生が担当する事例

※H24新潟(プレスレット)、H25大分(ストラップ)、H28岡山(うちわ)等はこの形式。

※組立は具体的には、プレスレットやストラップでは、部品の取り付けや飾りの紐通しなど。

うちわは、骨組みへの貼り付けなど。

(例2) 提供された素材を高校生が加工して手作りする事例

※H26山梨のミサンガは一本一本手作り(糸が配布され、縫り合わせる作業を分担)。

どちらの例でも、台紙への手書きメッセージの記入や袋詰めの作業を高校生が分担しています。

どちらの例が正解ということはありません。意見交換を行う際に、三重県で製作する記念品は、どちらの方法で製作するかを意識して、案を考えてみてください。

②製作する記念品は三重県で1つに統一するかどうか。

先催県の例では、1品目1種類(例:H25大分の竹細工ストラップ、H27和歌山のストラップなど)を製作している例もあれば、1品目複数種類(例:H28岡山のうちわは10競技のデザイン=10種類。H29山形のストラップに付ける飾りは5地区の名産品=5種類)を製作している例もあります。2品目以上を製作している例は、これまで例がない模様です。

一つに統一するかどうか、決まりはありませんが、それぞれの以下のようなメリット、デメリットが考えられると思います。

○1品目に統一した場合

- ・製作する側にとっては、皆で同じ品物を作っている感が出る。
- ・作業の負担が均一になる。
- ・作業を分担する際の製作マニュアルが1つで済む。
- ・貰う側にとって、競技は違うけれども、三重県大会に参加した皆が同じものを持っているという連帯感、同じものを貰ったという公平感を感じられる。

○1品目複数種類とした場合

(上記に加えて)

- ・地域の特産品などを種類豊富に取り入れて、県の多くの魅力を発信できる。
- ・貰う側にとって、1つしかもらえないので、伝わるのは1つの魅力だけになる。

○複数品目とした場合

- ・品目によって、作業の負担が異なる。
- ・作業を分担する際の製作マニュアルが複数必要になる。
- ・貰う側にとって、何がもらえるかわからないので、喜ばれるかもしれない。
- ・品目が選べないので、他の品目の方が良かったという意見が出るかもしれない。

他にも、メリット・デメリットが考えられるかもしれませんが。意見交換を行う際に、三重県で製作する記念品は、どのようにしたら良いか、考えてみてください。

③三重ならではの記念品とするためにどのような要素を盛り込むか。

先催県の取組では、それぞれ、その県ならではの記念品となるように、品目やデザインが選ばれています。

その県ならではの要素を盛り込んでいる例は様々です。例えば、

○H23青森県

青森県のマスコット「アップリート君」をモデルにする。

○H24新潟県

高校生活動の愛称「北信越UNION～絆～」をモチーフに「絆」を「希綱」に変えて、参加する人々が絆で結ばれるための「希望の綱」になればとの思いを込めている。

○H25大分県

ストラップの部品に、県の伝統工芸品である竹細工を使用している。

○H26山梨県

ミサガの色は、富士山をイメージして青、白、水色の3色を組み合わせている。

○H27和歌山県

きのくに(木の国、紀の国)とも呼ばれた、特産品のヒノキの木札をストラップに使用している。

○H28岡山県

県のマスコット「ももっち」「うらっち」のデザインと、県開催の10競技ごとに、選手のシルエットをデザインに採用。

○H29山形県

特産品の杉を使った飾り、「花笠」「米沢牛」「サクランボ」などの名産品をデザインした飾りのついたストラップを製作。

④その他留意事項

○今後、約18,000個の記念品を製作するために、各学校で作業を分担することになります。現在、学校推進委員会が設置されている学校数は68校ですので、単純計算すると、各学校で約265個の製作を分担することになります。学校推進委員の皆さんだけでこの数量を完成させるのはとても大変です。他の生徒さんにも作業をお願いすることになるかもしれませんが、そのことも念頭において、どのような品目やデザインが望ましいか、考えてください。

○品目を考える際に、デザインや素材などに、三重の持つ様々な魅力、例えば、「観光」(御在所ロープウェイ、鈴鹿サーキット、忍者、伊勢神宮、海女さん、真珠、熊野古道 など)や、「食」(松阪牛、伊勢えび、伊賀牛、あわび、御餅 など)、「伝統工芸品」(伊勢形紙、伊賀くみひも、日永うちわ など)などを盛り込むことが出来ないかを考えてみてください。

※観光、食、伝統工芸品に関するパンフレット類をご覧いただき、参考にしてください。

学校推進委員会意見交換結果

学校名: _____

(1) 県推進委員会で意見交換した3つの案

- ①うちわ ②ミサンガ ③ボールペン

について、1. 県推進委員会の意見交換で出た意見を参考に、どの案が好ましいか、選択の理由、各案のメリット、デメリット、盛り込みたい要素について、意見交換で出た意見を記入して下さい。

【どの案が好ましいか】

【理由】

【各案のメリットデメリット】

【盛り込みたい要素】

(2) 上記①～③以外にも、良い案があれば、1つに絞り、意見を出して下さい。

選定の理由、メリット、盛り込みたい要素など、意見交換で出た意見を記入して下さい。

【品目案】

【理由】

【メリット】

【盛り込みたい要素】

(3) 意見交換の際に留意してほしい事項

- ①「手作り」記念品をどこまで「手作り」するか
②製作する記念品は三重県で1つに統一するかどうか
③三重ならではの記念品とするためにどのような要素を盛り込むか
について、意見交換で出た意見を記入して下さい。

①「手作り」記念品をどこまで「手作り」するか

②製作する記念品は三重県で1つに統一するかどうか(1品目1種類、1品目複数種類、複数品目)

③三重ならではの記念品とするためにどのような要素を盛り込むか

手作り記念品の製作について

意見交換の進め方

【学校推進委員会意見交換結果の発表】

(1) 県推進委員会で意見交換した3つの案

①うちわ

②ミサンガ

③ボールペン

について、1. 県推進委員会の意見交換で出た意見を参考に、どの案が好ましいか、選択の理由、各案のメリット、デメリット、盛り込みたい要素について、意見交換で出た意見を発表。

(2) 上記①～③以外にも、良い案があれば、1つに絞り、選定の理由、メリット、盛り込みたい要素など、意見交換で出た意見を発表(④案とします。なければ「なし」で可です)。

(3) 意見交換の際の留意事項

①「手作り」記念品をどこまで「手作り」するか

② 製作する記念品は三重県で1つに統一するかどうか

③ 三重ならではの記念品とするためにどのような要素を盛り込むかについて、意見交換で出た意見を発表。

手作り記念品の製作について

意見交換の進め方

【意見交換】

発表を踏まえて、グループとして、①～④案の各案のどれが好ましいか、その理由、各案のメリット、デメリット、盛り込みたい要素を検討する。各グループ2案程度に絞る(1案しか良い案が出なければ1案でも可)。

また、意見交換の際の留意事項

- ①「手作り」記念品をどこまで「手作り」するか
- ②製作する記念品は三重県で1つに統一するかどうか
- ③三重ならではの記念品とするためなどのような要素を盛り込むかについて、(1)の検討と合わせて、意見交換を行う。

【発表】

意見交換の結果、どの案が好ましいか、その理由、各案のメリット、盛り込みたい要素を発表。合わせて、意見交換の際の留意事項①～③に関して、グループで出た意見を発表。地区として2案程度に絞る。

【案の決定方法】

今日の地区推進委員会で、地区の意見として出た2案及び留意事項を基に、第3回県推進委員会(3月21日予定)で決定。

各地区推進委員会活動計画について

意見交換の進め方

(1) 意見交換

各グループで、資料「各地区推進委員会活動計画企画案一覧」の中から、どの取組を実施した
いかを選ぶ(他地区の企画案一覧から、案を参考にしても良い)。

【留意事項】

①取組場所

→地区は広い。多くの生徒が活動に参加出来るよう、活動エリアが固まらないようにする。

②取組時期

→実施時期によって、学校行事と重なり、参加できる人数が少なくなることもある。
→取組時期が一時に集中すると、準備が大変。

→年間を通して、バランス良く地区の活動が行われると理想的

※H29. 10月は300日前イベントを実施予定のため、この時期(準備期間を含め)は避ける。

※自分達で企画の検討、準備等を行うことを考慮して、回数を検討すること。

③取組内容

→現在の企画案は、大きく分けると以下に分類される。

○イベント系(祭りや商業施設などでPR)

○製作系(観光マップ、シンボルマーク、PVなどを製作)

→どちらの系もPRには重要なので、偏らないようにするのが望ましい。

各地区推進委員会活動計画について

意見交換の進め方

【留意事項】

③取組内容

→これまでのPR活動は、チラシ・ティッシュの配布、のぼり・横断幕・ポスターの掲出が多い。
→これらの活動も重要だが、これら以外の内容でPR活動が出来ないかも考える。

(例:ブースを出展して、ブースに立ち寄ってもらえる仕掛けを考える。ステージに登壇してスピーチ、ラジオ・TV出演など)

④スケジュール

各取組について、準備内容、準備にどれくらいかかるかを考える。

⑤案の絞り込み

→各グループで、2案程度に絞り込んで、具体的に来年度の取組内容を考える。

○いつ、実施するか

○準備期間はどれくらいかかりそうか

○どのような準備が必要か

生徒委員の打合せ会、製作物、関係者への訪問 など

→各案に優先順位をつける。

※各グループで、これは是非やりたいという順番を付ける。

各地区推進委員会活動計画について

意見交換の進め方

(2) 発表

意見交換の結果、どの2案を実施したいと考えたのか、実施内容、理由、実施時期、スケジュール、2案の優先順位を発表する。

(3) 今後の取組案の決定方法

地区役員(委員長、副委員長)において、(2)発表で出た内容を基に、どの案を選定するか、具体のスケジュール、役割分担等を検討する。
検討結果に基づき、各地区で取組を進める。

10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100